MEGシリーズ

マザーボード

MEG Z790 GODLIKE MAX

ユーザーズガイド

目次

クイックスタート 4

仕様 16

MSI独自の機能 22

パッケージの内容 23

バックパネルコネクター 24

- LANポートLED状態表 26
- オーディオジャックの接続 26
- アンテナの取り付け 28
- デイジーチェーンでThunderboltデバイスの接続 29

コンポーネントの概要 30

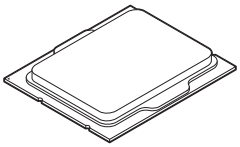
- CPUソケット 31
- DIMMスロット 32
- PCI_E1~2: PCIe拡張スロット 33
- M2_1~7: M.2スロット (Key M) 34
- SATA3~8: SATA 6Gb/sコネクター 46
- JAUD1: フロントオーディオコネクター 46
- JFP1, JFP2: フロントパネルコネクター 47
- W_FLOW1: 水流量計コネクター 48
- JDASH1 : チューニングコントローラーコネクター 48
- CPU_PWR1~2、ATX_PWR1、PD_PWR1: 電源コネクター 49
- JCI1: ケース開放スイッチコネクター 50
- POWER1, RESET1: 電源ボタン、リセットボタン 50
- JUSB5~6: USB 3.2 Gen 2x2 Type-Cフロントパネルコネクター 51
- JUSB3~4: USB 3.2 Gen 1コネクター 51
- JUSB1~2: USB 2.0コネクター 52
- JTPM1: TPMモジュールコネクター 52
- JSLOW1: スローモード起動ジャンパ 53
- JLN1~2: 低温度起動ジャンパ 53
- JOC_FS1: セーフブートジャンパ 54
- JOC_RT1: OC Retryボタンコネクター 54
- T_SEN1~2: 熱センサーコネクター 55
- BIOS_SW1: マルチBIOSスイッチ 55
- CPU_FAN1, PUMP_FAN1~2, SYS_FAN1~7: ファンコネクター 56

JBAT1: クリアCMOS (BIOSリセット) ジャンパー 57
V-Checkポイント 57
M_SW1: M-Visionスイッチ 58
JRGB1: RGB LEDコネクター 60
JARGB_V2_1~3: A-RAINBOW V2 (ARGB Gen2) LEDコネクター 61
JAF_1: 内蔵ARGB LED & システムファンコネクター 62
オンボードLED 63
EZ Debug LED 63
JPWRLED1: LED電源入力 63
LED_SW1: EZ LEDコントロール 63
デバッグコードLED 64
ブートフェーズ 64
デバッグコードLED一覧表 64
OS、ドライバーおよびMSI Centerのインストール 71
UEFI BIOS 72
BIOSの設定 73
BIOSのリセット 74
BIOSのアップデート方法 74
ブロック図 76

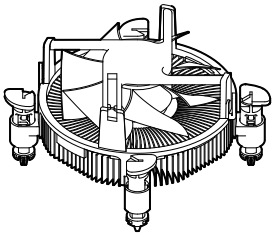
クイックスタート

この度はMSI®マザーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このクイックスタートセクションにはコンピューターのインストール方法についてのデモンストレーションが表示されます。一部のインストールにはビデオデモンストレーションも提供されます。スマートフォンやタブレットのWebブラウザでURLにアクセスしてビデオをご覧ください。QRコードからアクセスすることもできます。

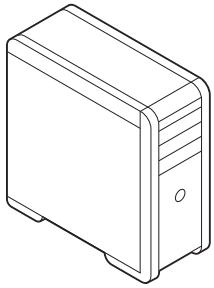
ツールおよびコンポーネントの準備



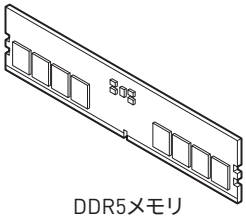
Intel® LGA1700 CPU



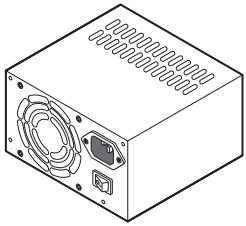
LGA1700 CPUファン



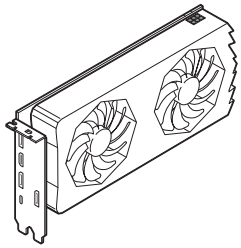
ケース



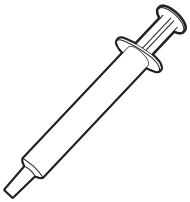
DDR5メモリ



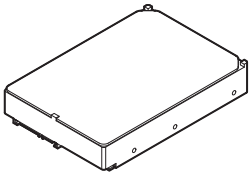
電源ユニット



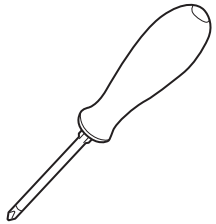
グラフィックスカード



熱伝導性ペースト



SATAハードディスクドライブ



プラスドライバー



ねじセット

安全に関する注意事項

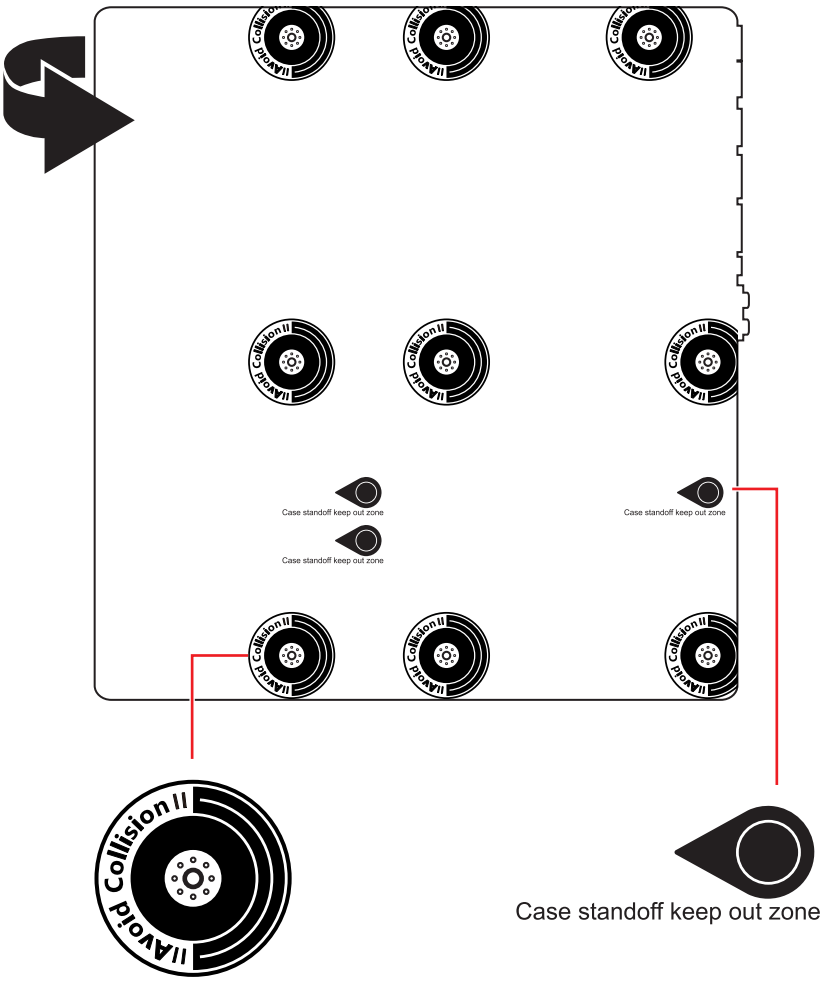
- 本パッケージ内のコンポーネントは静電放電(ESD)を受けやすいので、PCの組み立てを確実に成功させるために以下の注意事項を守ってください。
- コンポーネントがしっかりと全部接続されていることを確認してください。確実に接続されていない場合、コンポーネントの認識不良や起動不良の原因となります。
- 繊細な部品に触れないよう、マザーボードのフチを持ってください。
- マザーボードを扱う際には、静電気破壊を防ぐために、静電放電 (ESD)リストストラップを着けることをお薦めします。ESDリストストラップが用意できない場合は、他の金属製のものに触れて静電気を逃してからマザーボードを扱ってください。
- 本品を取り付けない時は、静電気対策が施された箱か、または静電気防止パッド上で保管してください。
- コンピューターの電源を投入する前に、マザーボードのショートの原因となる、外れたネジや金属製の部品がマザーボード上またはPCケース内にないか、よく確認して下さい。
- コンポーネントの破損やユーザーの怪我の原因となるおそれがあるため、組み立てが完了する前にPCを起動させないでください。
- PCの組立について不明な点がある場合は、販売店やメーカーのサポート窓口に相談してください。
- PCパーツの取り付けおよび取り外しを行う前には、必ずPCの電源をオフに、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 本ユーザーズガイドは大切に保存してください。
- 本マザーボードは湿気の少ない所で使用・保管してください。
- 電源ユニットをコンセントに接続する前に、電源ユニットに記載された電圧がコンセントの電圧に適合しているか確認してください。
- 電源コードは踏まれることがないように配線してください。電源コードの上に物を置かないでください。
- マザーボードに関するすべての注意と警告を遵守してください。
- 次のような場合は、販売店や代理店のサポート窓口にマザーボードの点検を依頼してください。
  - PCに水をこぼした場合。
  - マザーボードが高い湿気にさらされた場合。
  - ユーザーズマニュアルに従って操作しても、マザーボードが正常に作動しない、または起動しない場合。
  - マザーボードが落ちて破損した場合。
  - マザーボードに目に見える破損がある場合。
- 本品を温度が60°C (140OF)より高い場所に置かないでください。マザーボードが破損することがあります。

ケーススタンドオフの注意事項

マザーボードに損害を防ぐために、マザーボードの回路とPCケースの間に必要のない取り付けスタンドオフを取り付けないでください。使用者に注意するために、「Case standoff keep out zone」の標示(下図のように)がマザーボードの背面に付きます。

衝突回避の注意事項

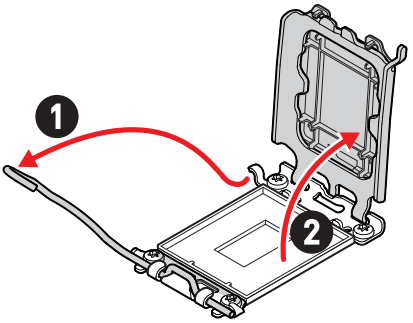
部品を傷つけないように、各ネジの周りには保護ペイントがあります。

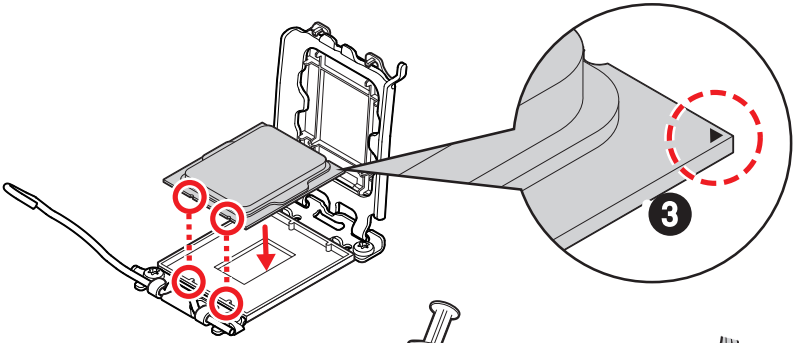


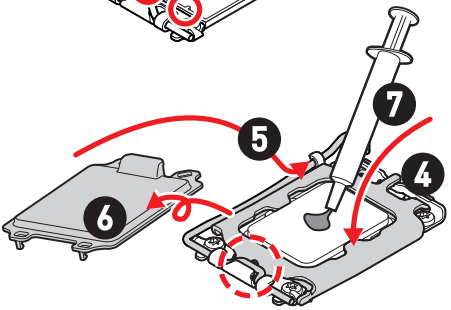
* 上図は参照用だけです。ご購入したマザーボードはモデルと異なる場合がありますので、ご注意ください。

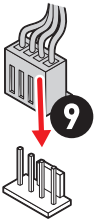
プロセッサの取り付け

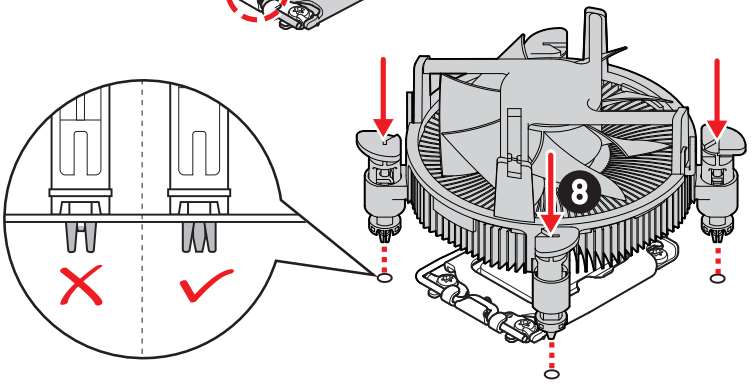
- https://youtu.be/KMf9oIDsGes





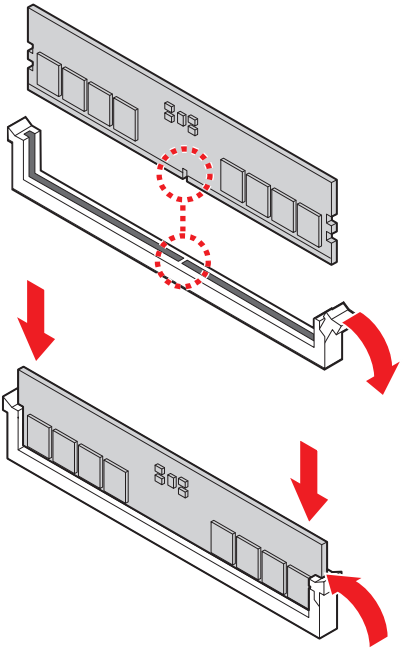


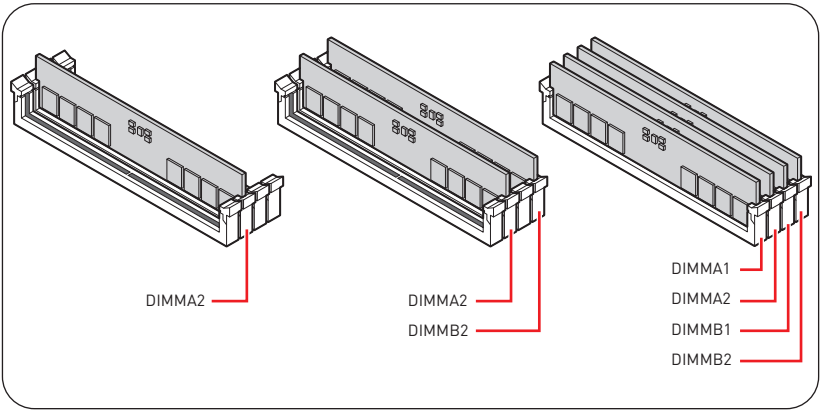




DDR5メモリの取り付け

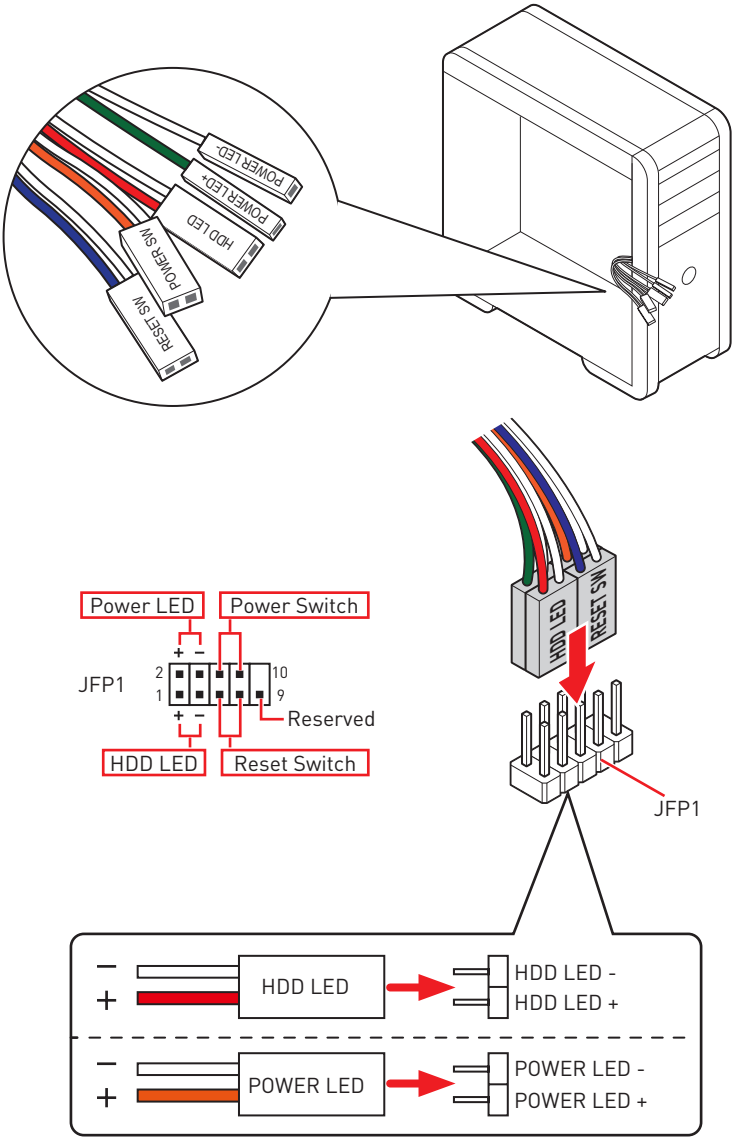
- https://youtu.be/XiNmkDNZcZk



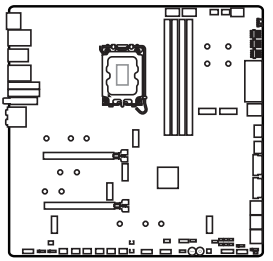


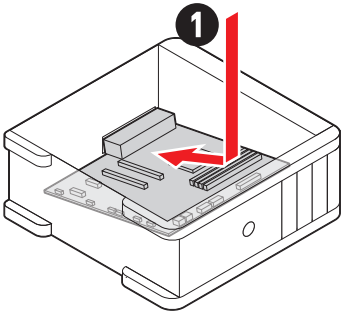
フロントパネルヘッダーの接続

- http://youtu.be/DPELIdVNZUI

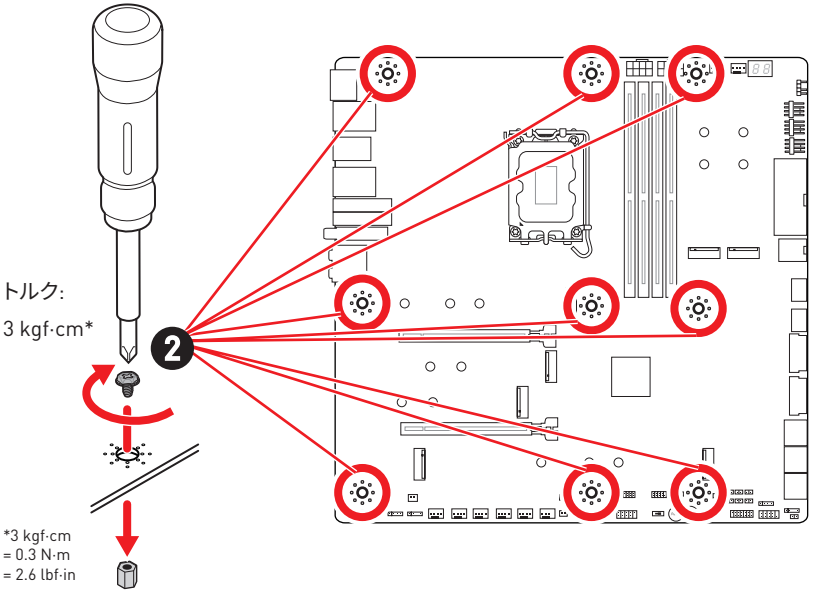


マザーボードの取り付け



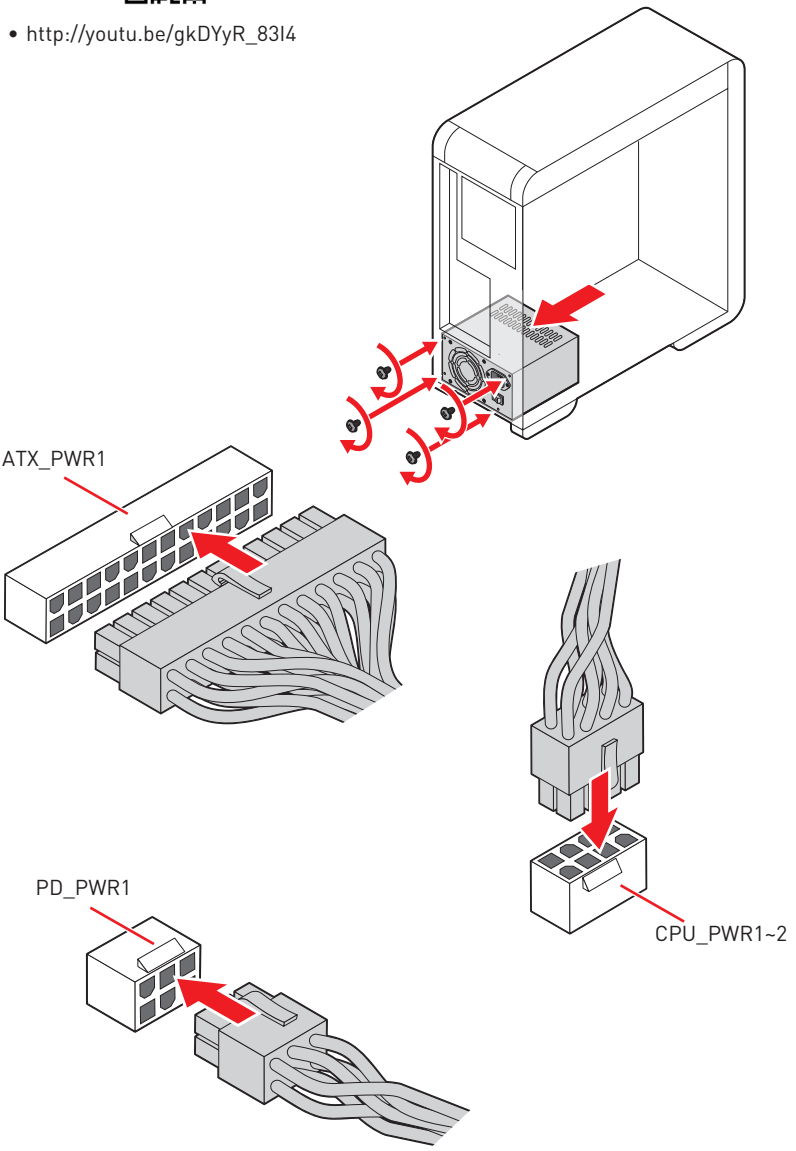


- https://youtu.be/wWl6Qt51Wnc



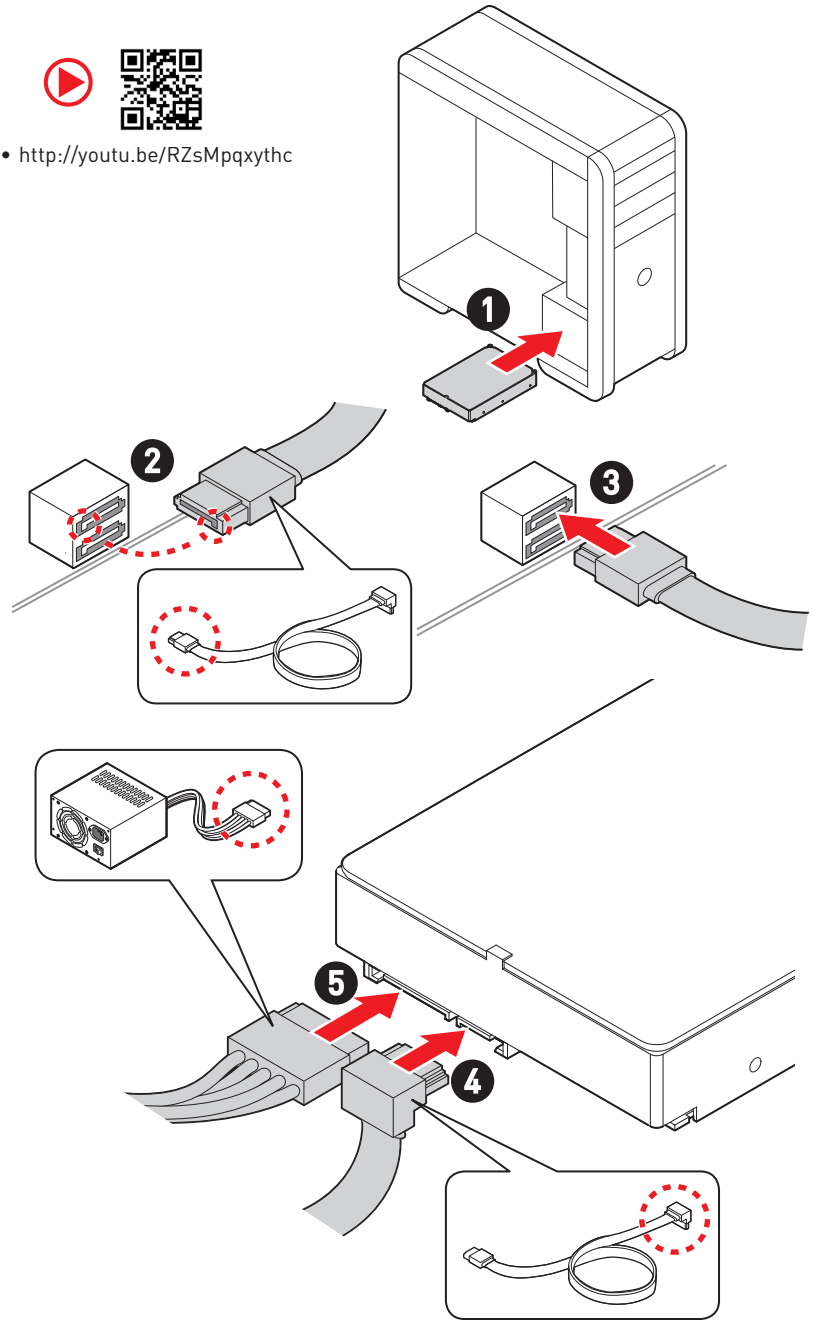
電源コネクターの接続

- http://youtu.be/gkDYyR_83I4



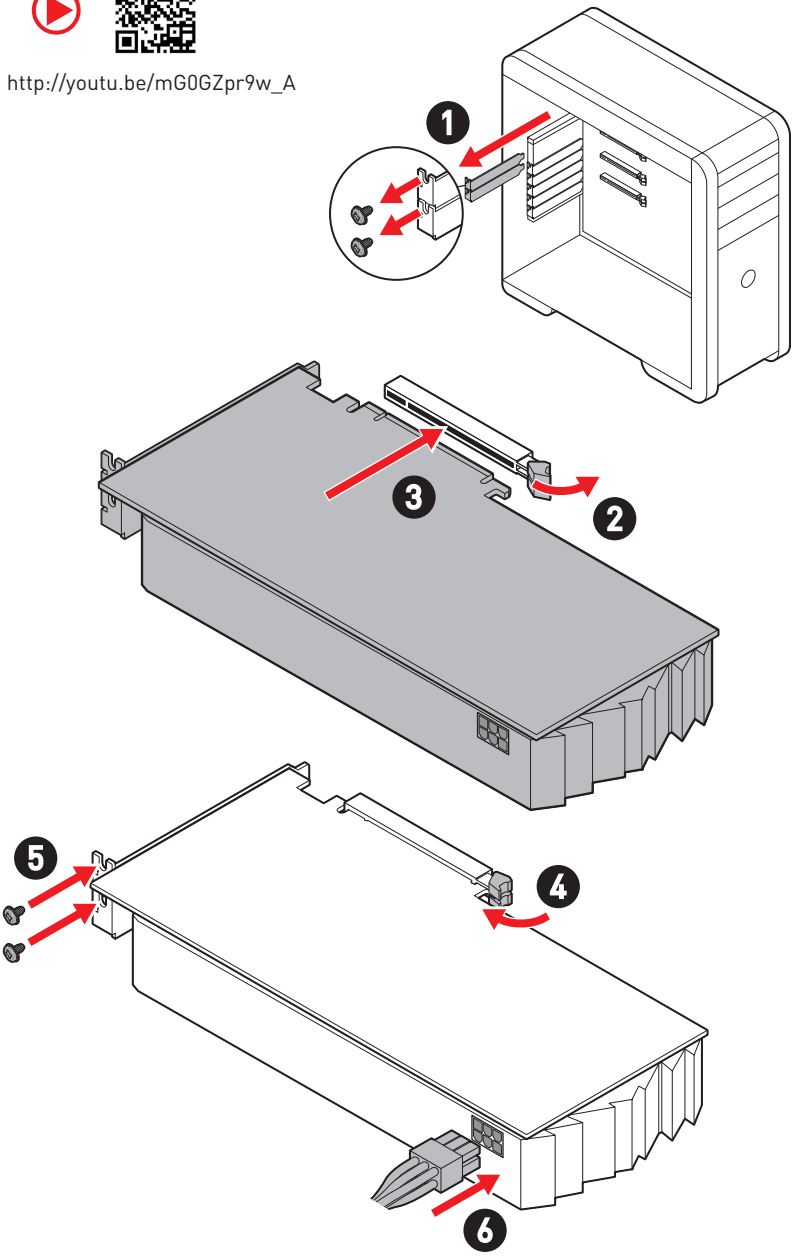
SATAドライブの取り付け

- http://youtu.be/RZsMpqxythc

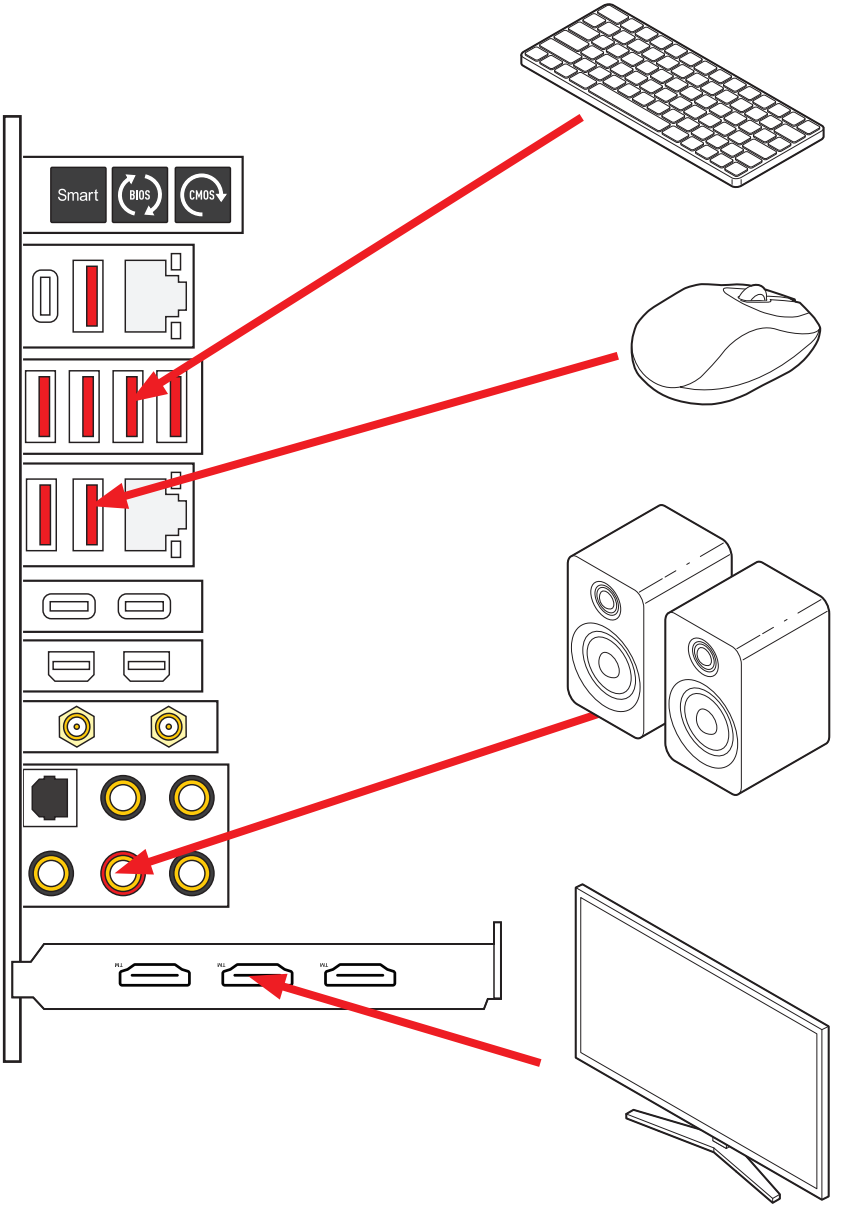


グラフィックスカードの取り付け

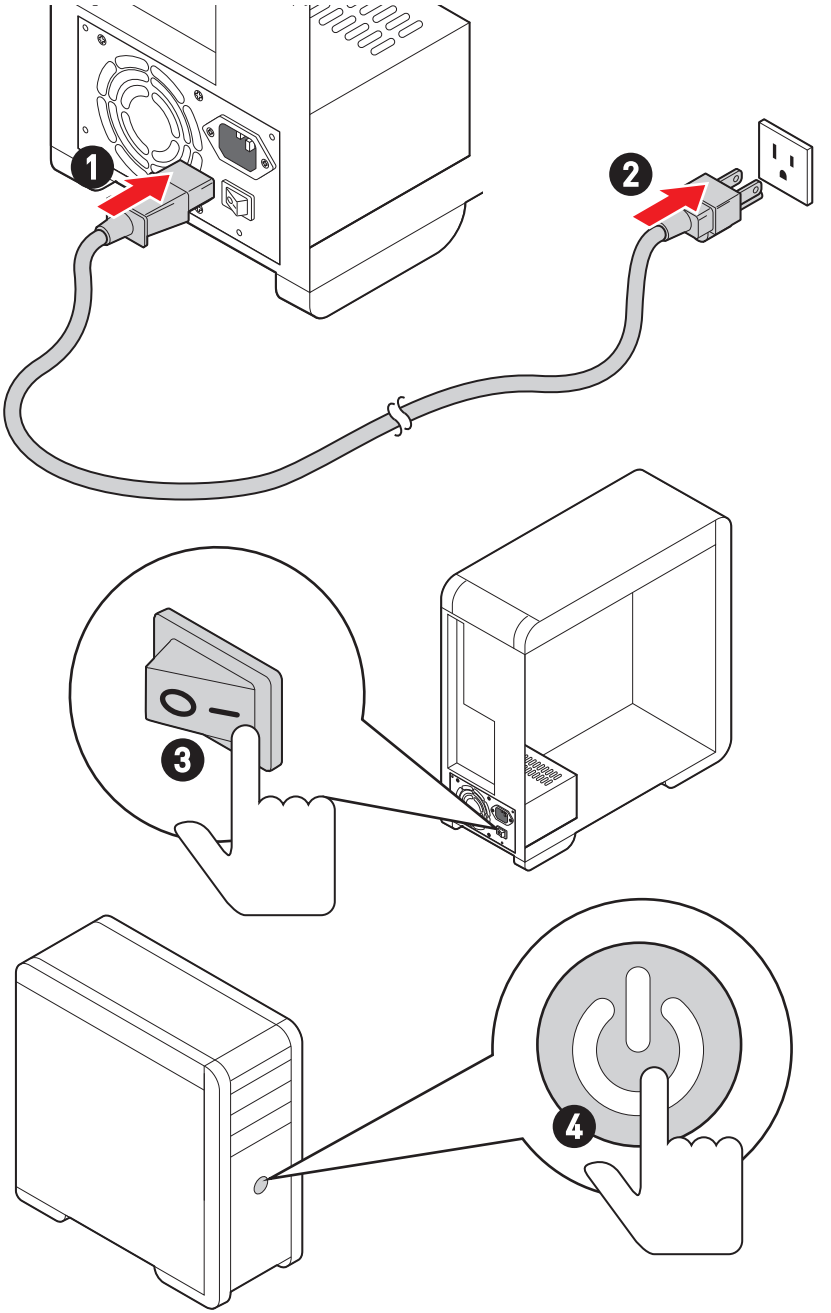
- http://youtu.be/mG0GZpr9w_A



周辺機器の接続



通電



仕様

CPU	• Intel® Core™第14/ 13/ 12世代プロセッサ、Intel® Pentium® GoldとCeleron®プロセッサをサポート* • プロセッサーソケットLGA1700 * 新しいプロセッサのリリース後、www.msi.comにアクセスして最新のサポート状態を確認してください。
チップセット	Intel® Z790チップセット

メモリ	• DDR5メモリスロット4本搭載、最大192GB搭載可能*
	• 1R 5600 MHzをサポート (JEDEC & PORによる)
	• 最大オーバークロック周波数:
	  • 1DPC 1Rは最大7800+ MHzの速度をサポート
	  • 1DPC 2Rは最大6800+ MHzの速度をサポート
	  • 2DPC 1Rは最大6400+ MHzの速度をサポート
	  • 2DPC 2Rは最大6000+ MHzの速度をサポート
	• 片ラッチ式メモリ(DIMM)スロット
	• Intel® XMP 3.0 OCをサポート
	• デュアルコントローラーデュアルチャンネルモードをサポート
	• non-ECC、un-bufferedメモリをサポート
	* 互換性があるのメモリについての詳細はwww.msi.comからご参照ください。

拡張スロット	• PCIe x16スロット x2 (CPU帯域接続)
	  • x16/x0、x8/x8をサポート
	  • PCI_E1は最大PCIe 5.0 x16をサポート*
	  • PCI_E2は最大PCIe 5.0 x8をサポート**
	* デバイスをPCI_E2スロットまたはM2_4スロットに取り付ける場合に、PCI_E1スロットは x8の速度で動作します。
	** M.2 SSDをM2_4スロットに取り付ける場合に、PCI_E2スロットは無効になります。

マルチGPU	• AMDマルチGPUをサポート

次のページから続く

前のページから続く

Thunderbolt™ 4	Intel® JHL8540 Thunderbolt™ 4コントローラー • バックパネルにThunderbolt™ 4 USB-Cポート x2 (DisplayPort Alt mode/ USB4 20Gbps/ 最大15Wの電源供給付き) • Thunderboltデバイスで最大40Gbpsの転送レートに対応 • USB4デバイスで最大20Gbpsの転送レートに対応 • USB 3.2デバイスで最大10Gbpsの転送レートに対応 • 5V/3A、15Wの電源出力に対応 • 各ポートは最大3 Thunderbolt™ 4デバイスまたは5 Thunderbolt™ 3デバイスのデイジーチェーンに対応 • 8K 画面出力をサポート (ディスクリートグラフィックカードのDisplayPortをバックパネルのMini DisplayPort入力ポートに接続する必要があります。)
SATAポート	• SATA 6Gb/sポート x6 • SATA3~8 (Z790チップセット帯域接続)* * M.2 PCIe/ SATA SSDをM2_3スロットに取り付ける場合に、SATA3~4は無効になります。M.2 PCIe SSDをM2_5スロットに取り付ける場合に、SATA5~8は無効になります。M.2 SATA SSDをM2_5スロットに取り付ける場合に、SATA7~8は無効になります。

次のページから続く

前のページから続く

M.2 SSDスロット	• M.2スロット x7 (Key M) • M2_1スロット (CPU帯域接続) • 最大PCIe 4.0 x4をサポート • 2260/ 2280/ 22110ストレージデバイスをサポート • M2_2 & M2_3スロット (Z790チップセット帯域接続) • M2_2スロットは最大PCIe 4.0 x4をサポート • M2_3スロットは最大PCIe 4.0 x4とSATA 6Gb/sをサポート* • 2260/ 2280ストレージデバイスをサポート • M2_4スロット (CPU帯域接続)** • 最大PCIe 5.0 x4をサポート • 2280/ 22110ストレージデバイスをサポート • M2_5、M2_6とM2_7スロット (Z790チップセット帯域接続) • M2_5は最大PCIe 3.0 x4とSATA 6Gb/sをサポート*** • M2_6は最大PCIe 4.0 x4をサポート • M2_7は最大PCIe 4.0 x4をサポート • 2260/ 2280ストレージデバイスをサポート * M.2 PCIe/ SATA SSDをM2_3スロットに取り付ける場合に、SATA3~4は無効になります。 ** M.2 SSDをM2_4スロットに取り付ける場合に、PCI_E2スロットは無効になります。 *** M.2 PCIe SSDをM2_5スロットに取り付ける場合に、SATA_5~8は無効になります。M.2 SATA SSDをM2_5スロットに取り付ける場合に、SATA_7~8は無効になります。
RAID	• SATAストレージデバイスにて、RAID 0、RAID 1、RAID 5とRAID 10をサポート • M.2 NVMeストレージデバイスにて、RAID 0、RAID 1、RAID 5とRAID 10をサポート
オーディオ	Realtek® ALC4082コーデック + ES9280AQコンボDAC/HPA • 7.1チャンネルUSB高パフォーマンスオーディオ • フロントパネルで最大32ビット/384kHzの再生をサポート • S/PDIF出力をサポート
LAN	• Intel® 2.5Gbps LANコントローラー x1 • Marvell® AQC113CS 10Gbps LANコントローラー x1

次のページから続く

前のページから続く

Wi-Fi & Bluetooth®	Wi-Fi 7 • ワイヤレスモジュールはM.2 (Key-E) スロットにプレーインストールされます。 • MU-MIMO TX/RX, 2.4GHz/ 5GHz/ 6GHz*(320MHz)をサポート、最大5.8Gbpsまでの速度をサポート • 802.11 a/ b/ g/ n/ ac/ ax/ beをサポート • Bluetooth® 5.4**、MLO、4KQAMをサポート *6GHzバンドサポートは各国の規定によって異なる場合があり、Wi-Fi 7はWindows 11 SV3に対応します。 ** Bluetoothのバージョンは更新される場合があります。詳細はWi-Fiチップセットベンダーのウェブサイトを参照してください。Bluetooth 5.4はMicrosoft Windows 11の対応が完了次第、順次利用可能になります。(利用可能時期は、地域によって異なります。)
電源コネクター	• 24ピンATXメイン電源コネクター x1 • 8ピン+12V電源コネクター x2 • 6ピンPCIe電源コネクター x1* * USB PD 60W急速充電を行うためには、PD_PWR1コネクターを電源ユニットに接続する必要があります。
内部USBコネクター	• USB 3.2 Gen 2x2 20Gbps Type-Cフロントパネルポート x2 (Z790チップセット帯域接続) • JUSB6はUSB PD 60W急速充電をサポート* • USB 3.2 Gen 1 5Gbpsコネクター x2 (GL3523帯域接続) • 4基の追加USB 3.2 Gen 1 5Gbpsポートをサポート • USB 2.0コネクター x2 (Hub-GL850G帯域接続) • 4基の追加USB 2.0ポートをサポート * JUSB6のUSB PD 60W急速充電を行うためには、PD_PWR1コネクターを電源ユニットに接続する必要があります。
ファンコネクター	• 4ピンCPUファンコネクター x1 • 4ピンウォーターポンプファンコネクター x2 • 4ピンシステムファンコネクター x7
システムコネクター	• フロントパネルオーディオコネクター x1 • システムパネルコネクター x2 • ケース開放スイッチコネクター x1 • 3ピン水流量コネクター x1 • 2ピン熱センサーコネクター x2 • TPMモジュールコネクター x1 • チューニングコントローラーコネクター x1

次のページから続く

前のページから続く

ボタン	• 電源ボタン x1 • リセットボタン x1 • バックパネルにクリアCMOSボタン x1 • バックパネルにFlash BIOSボタン x1 • バックパネルにスマートボタン x1
ジャンパー	• クリアCMOSジャンパー x1 • スローモードジャンパー x1 • 低温度起動ジャンパー x2 • OCセーフブートBIOSジャンパ x1 • OC retryジャンパ x1
スイッチ	• EZ LEDコントロールスイッチ x1 • マルチBIOSスイッチ x1 • M-Visionスイッチ x1
LEDの機能	• 4ピンRGB LEDコネクター x1 • 3ピンA-RAINBOW V2 (ARGB Gen2) LEDコネクター x3 • EZ Debug LED x4 • 2-Digit Debug Code LED x1 • 内蔵ARGB LED & システムファンコネクター x1
バックパネルコネクター	• クリアCMOSボタン x1 • Flash BIOSボタン x1 • スマートボタン x1 • LAN (RJ45) ジャック x2 • USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Aポート x3 (Z790チップセット帯域接続) • USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Aポート x4 (GL3590帯域接続) • USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Cポート x1 (Z790チップセット帯域接続) • Thunderbolt™ 4 USB-Cポート x2 • Mini DisplayPort入力 x2 (Thunderbolt 4に対応) • Wi-Fiアンテナコネクター x2 • OFCオーディオジャック x5 • 光角型S/PDIF出力コネクター x1
I/0コントローラー	NUVOTON NCT6687-Rコントローラーチップ

次のページから続く

前のページから続く

ハードウェアモニター	• CPU/ システム/ チップセット温度の検知 • CPU/ システム/ ポンプファン回転速度の検知 • CPU/ システム/ ポンプファン回転速度のコントロール
寸法	• E-ATXフォームファクタ • 12 in. x 12.2 in. (305 mm x 310 mm)
BIOSの機能	• Dual BIOS • 256 Mbフラッシュ x2 • UEFI AMI BIOS • ACPI 6.4, SMBIOS 3.5 • 多言語対応
ソフトウェア	• デバイスドライバー • MSI Center • Intel Extreme Tuning Utility • MSI APP Player (BlueStacks) • CPU-Z MSI GAMING • Norton 360 • AIDA64 Extreme - MSI Edition • Adobe Creative Cloud • Acrobat

MSI独自の機能

MSI Center

- Gaming Mode
- Smart Priority
- Game Highlights
- Mystic Light
- Ambient Link
- Frozr AI Cooling
- User Scenario
- True Color
- Live Update
- Hardware Monitoring
- Super Charger
- Devices Speed Up
- Smart Image Finder
- MSI Companion
- System Diagnosis

冷却機能

- オールアルミデザイン
- 波状フィンデザイン
- クロスヒートパイプ
- M.2 Shield Frozr
- K7 MOSFETサーマルパッド / エクストラチョークパッド
- ファンヘッダー (CPU + PUMP + SYSTEM)

パフォーマンス

- Core Boost
- VRM電源デザイン (VCPU / AUX)
- デュアルCPU電源
- OC Engine
- Memory Boost
- Memory Force
- Lightning Gen 5 PCI-E / M.2スロット
- Lightning Gen 4 M.2スロット
- マルチGPUサポート
- Thunderbolt 4
- フロントUSB Type-C
- PD付きのUSB
- サーバグレードPCB
- 2オンス厚の銅を採用したPCB

DIYフレンドリー

- PCI-E Steel Armor
- プレーインストールのI/Oシールド
- メタルバックプレート
- スクリューレスM.2 Shield Frozr
- EZ M.2クリップ
- M-Vision Dashboard
- EZ DEBUG LED
- EZ LEDコントロール
- スマートボタン
- System Saver

オーディオ

- Audio Boost 5 HD

RGBサポート

- Mystic Light
- Mystic Light拡張 (RGB + A-RAINBOW V2)
- Ambient Link

BIOS

- Click BIOS 5

パッケージの内容

パッケージにすべての添付品が含まれていることをご確認ください。

ボード

- マザーボード本体 x1

ドキュメンテーション

- クイック取り付けガイド x1
- 欧州連合規則 x1

アプリケーション

- ドライバー&ユーティリティ付きのUSBドライブ x1

ケーブル

- SATA 6Gb/sケーブル x3
- RGB拡張ケーブル x1 (1 to 2)
- JARGB拡張ケーブル x1
- JARGB_V2拡張ケーブル x1 (1 to 3)
- サーミスタケーブル x2
- DPへのMini-DPケーブル x2
- フロントパネルケーブル x1
- M-Visionケーブル x1
- ARGB & ファン延長ケーブル x1

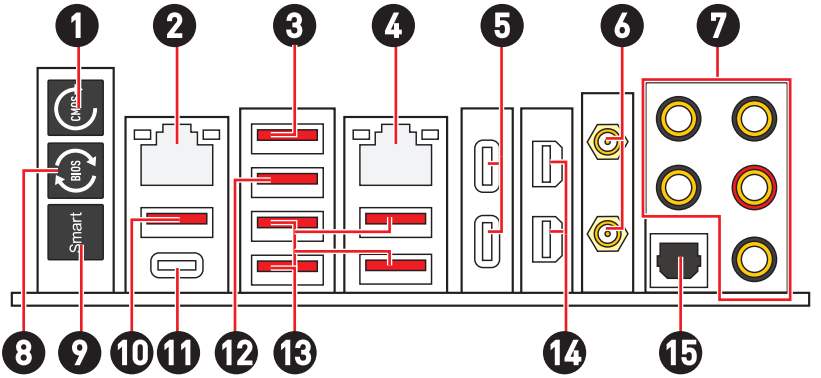
付属品

- Wi-Fiアンテナ x1
- M-Vision Dashboard x1
- ケースのバッジ x1
- EZ M.2クリップセット x4 (1セット/パック)
- SATAケーブルステッカー x1

注意

- *付属のUSBドライブにあるISOファイルを誤って削除しないようにご注意ください。ドライバのインストールについての詳細は、**OS、ドライバーおよびMSI Centerのインストール**の章を参照してください。*
- *欠品または破損がある場合は、直ちにご購入された販売店へ連絡して下さい。*

バックパネルコネクター

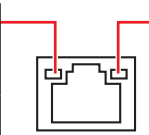


項目	説明
1	クリアCMOSボタン - このボタンの使用前には、必ずPCの主電源をオフにしてください。クリアCMOSボタンを5-10秒押したままにすると、BIOSがリセットされ、工場出荷時の設定に戻ります。
2	2.5 Gbps LANポート
3	USB 3.2 Gen 2 (10Gbps) Type-Aポート (Z790チップセット帯域接続) • M-Vision Dashboardポート - M-Vision Dashboardの接続については、60ページをご参照ください。
4	10 Gbps LANポート
5	Thunderbolt™ 4 USB-Cポート (JHL8540帯域接続) • DisplayPort Alt Mode • USB4 20Gbps • 最大15Wの電源供給
6	Wi-Fiアンテナコネクター
7	OFCオーディオジャック
8	Flash BIOSボタン - Flash BIOSボタンでのBIOSのアップデートについては、76ページをご参照ください。

項目	説明
9	スマートボタン - スマートボタンで実行する4つの機能を選択できます。スマートボタンの機能選択については、BIOSマニュアルを参照してください。 • **リセット (デフォルト)** - スマートボタンを押して、システムをリセットさせます。 • **Mystic Lightオン/オフ** - スマートボタンを押して、すべてのオンボードLEDをオン/オフにします。LED_SW1 (EZ LEDコントロール) スイッチがオフになった場合、Mystic Lightオン/オフ機能モードは無効になります。 • **セーフブート** - スマートボタンを押しながらシステムを起動するとセーフブートモードに入ります。システムは工場出荷時の設定で起動し、PCIe(CPU帯域接続)モードを低くします。 • **ターボファン** - スマートボタンを押すと、すべてのファンが最大回転数またはデフォルトの回転数で動作します。
10	USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Aポート (Z790チップセット帯域接続) • Flash BIOSポート
11	USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Cポート (Z790チップセット帯域接続)
12	USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Aポート (Z790チップセット帯域接続)
13	USB 3.2 Gen 2 10Gbps Type-Aポート (GL3590帯域接続)
14	Mini DisplayPort入力 (Thunderbolt 4に対応)
15	光角型S/PDIF出力コネクター

LANポートLED状態表

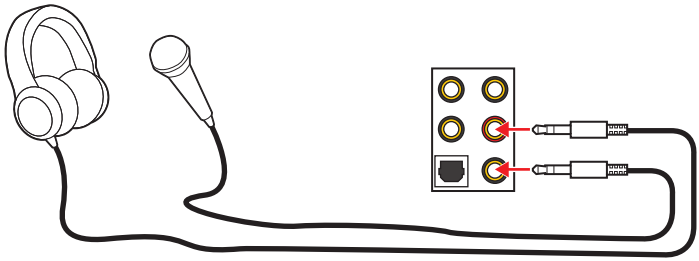
リンク/ アクティビティLED	
状態	説明
Off	リンクしていません
黄色 (2.5Gb LANの場合)	リンクしています
緑色 (10Gb LANの場合)	リンクしています
点滅	データ通信中です



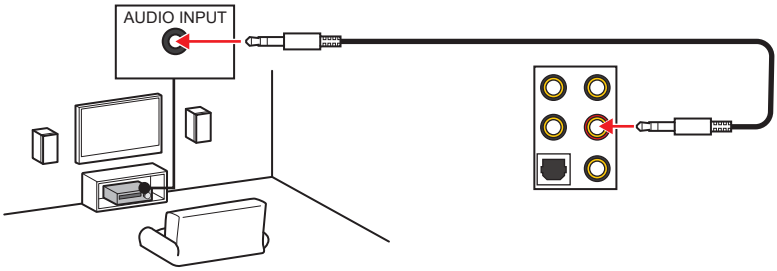
スピードLED		
状態	2.5Gb LAN スピード	10Gb LAN スピード
Off	10 Mbps	—
緑色	100 Mbps/ 1 Gbps	100 Mbps/ 1 Gbps/ 2.5 Gbps
オレンジ	2.5 Gbps	
黄色		10 Gbps

オーディオジャックの接続

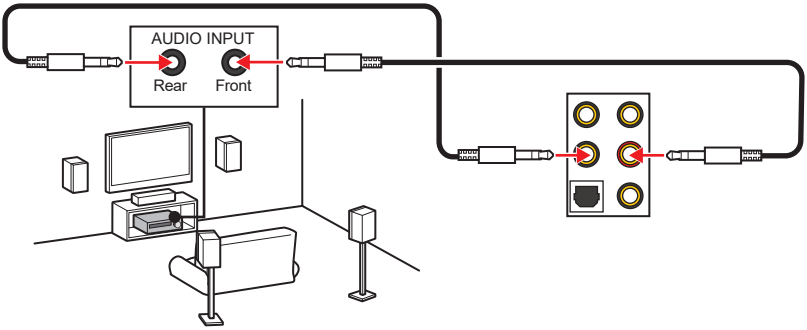
ヘッドフォンとマイクの接続方法



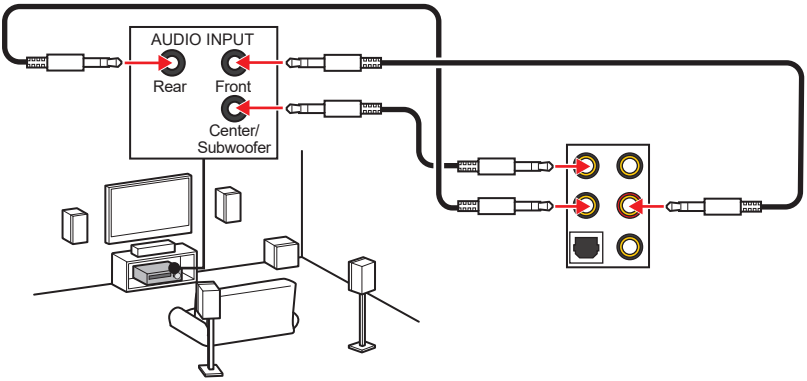
ステレオスピーカーの接続方法



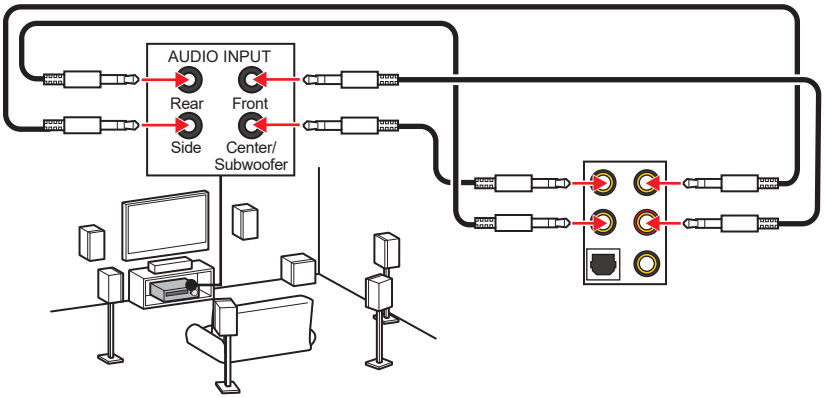
4チャンネルスピーカーの接続方法



5.1チャンネルスピーカーの接続方法

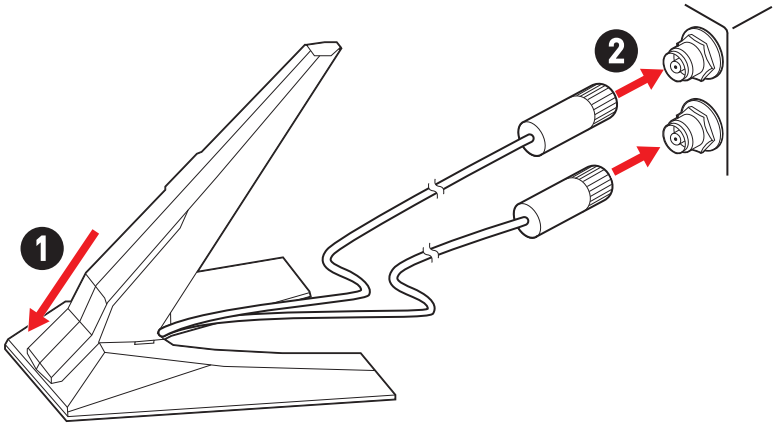


7.1チャンネルスピーカーの接続方法

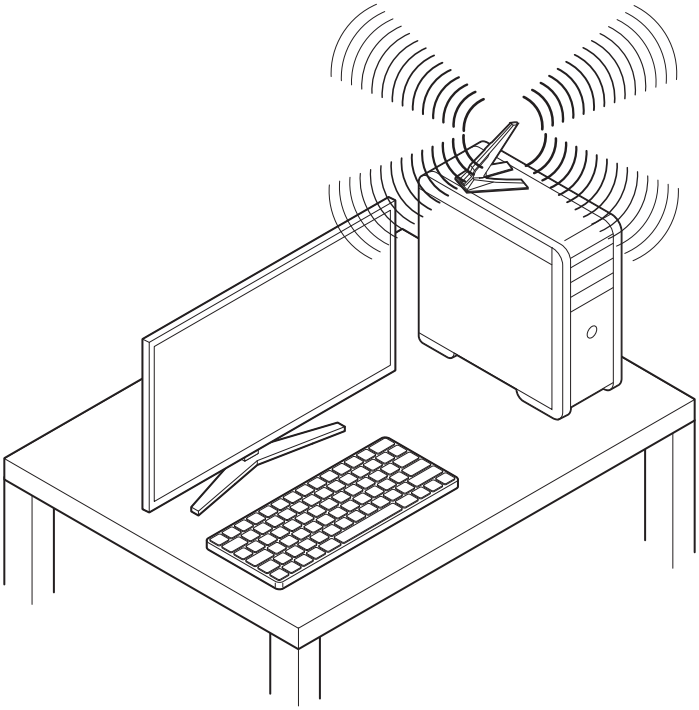


アンテナの取り付け

1. 台座でアンテナを組合わせます。
2. 下図のように2枚のアンテナケーブルをしっかりとWiFiアンテナコネクターに固定します。



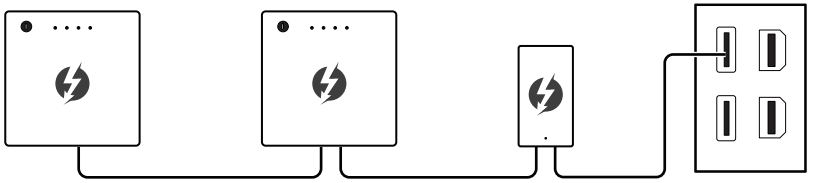
3. アンテナをできるだけ高く置きます。



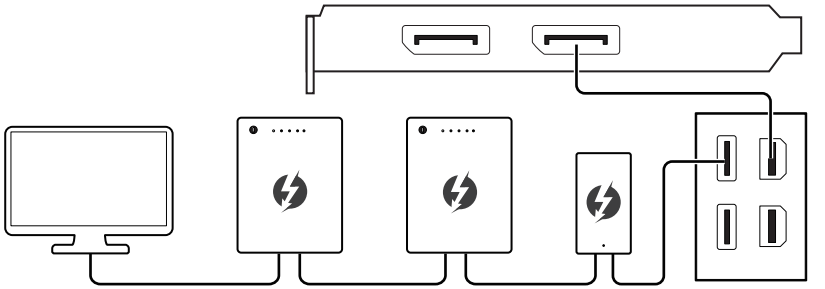
デイジーチェーンでThunderboltデバイスの接続

デイジーチェーンは1つの出力端子で複数のデバイスをPCに接続します。

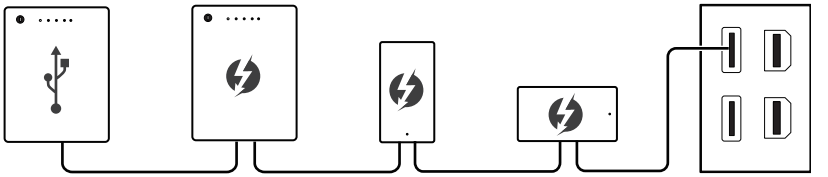
デイジーチェーンは複数のthunderboltデバイスをバックパネルのthunderboltポートに接続することができます。



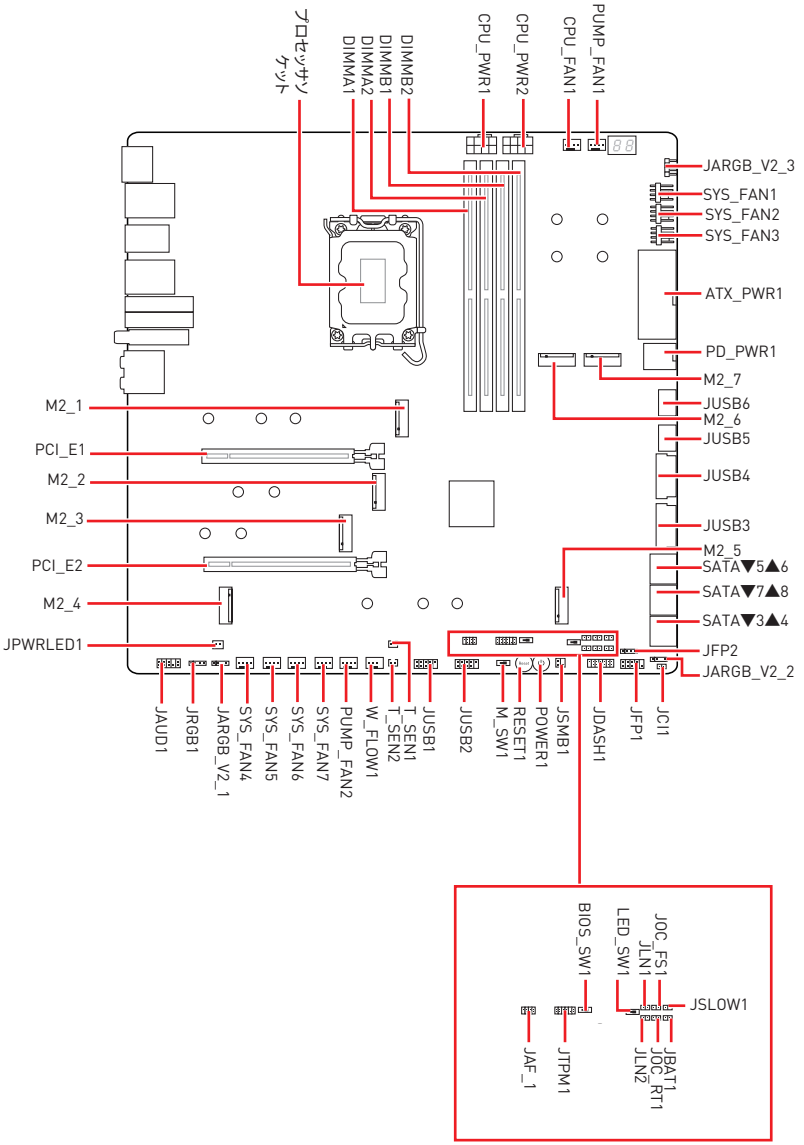
グラフィックカードをバックパネルのMini DisplayPort入力ポートに接続することで、モニターのデイジーチェーンに対応できます。



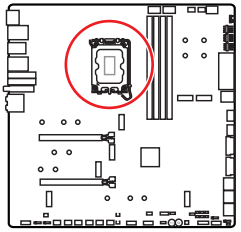
USBデバイスを接続する場合、チェーンの末端に接続してください。

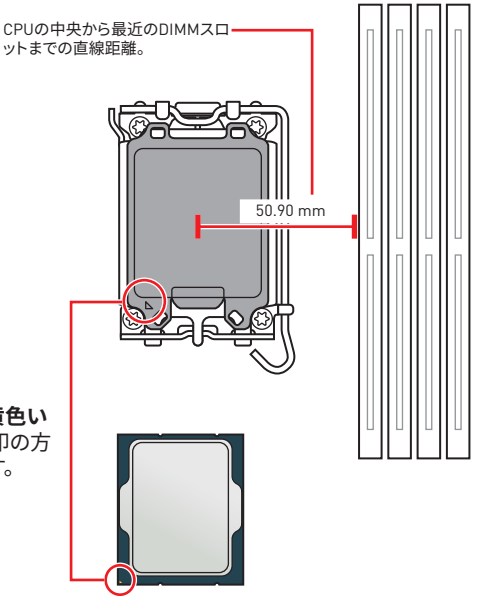


コンポーネントの概要


プロセッサソケット
DIMMA1
DIMMA2
DIMMB1
DIMMB2
CPU_PWR1
CPU_PWR2
CPU_FAN1
PUMP_FAN1
JARGB_V2_3
SYS_FAN1
SYS_FAN2
SYS_FAN3
ATX_PWR1
PD_PWR1
M2_7
M2_6
JUSB6
JUSB5
JUSB4
JUSB3
M2_5
SATA▼5▲6
SATA▼7▲8
SATA▼3▲4
JFP2
JARGB_V2_2
M2_1
PCI_E1
M2_2
M2_3
PCI_E2
M2_4
JPWRLED1
JAUD1
JRGB1
JARGB_V2_1
SYS_FAN4
SYS_FAN5
SYS_FAN6
SYS_FAN7
PUMP_FAN2
W_FLOW1
T_SEN2
T_SEN1
JUSB1
JUSB2
M_SW1
RESET1
POWER1
JSMB1
JDASH1
JFP1
JCI1
BIOS_SW1
LED_SW1
JOC_FS1
JLN1
JSLOW1
JAF_1
JTPM1
JBAT1
JOC_RT1
JLN2

CPUソケット





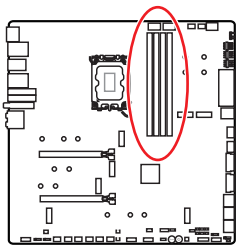
LGA1700 CPUについて

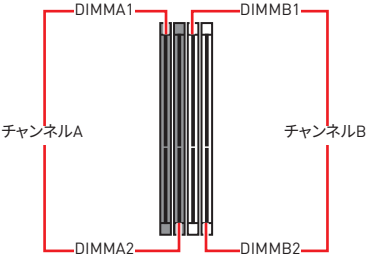
LGA1700 CPUには**切り欠き**が4個、**黄色い三角印**一個があります。黄色い三角印の方向をピン1の方向に向けて装着します。

注意

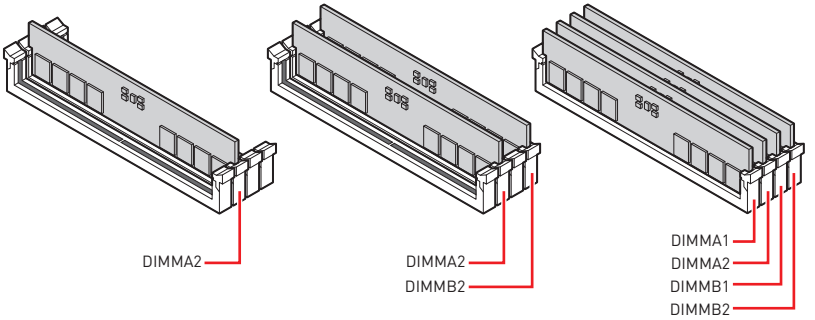
- *CPUの脱着は、必ず電源をオフにし、コンセントから電源ケーブルを抜いてから行ってください。*
- *CPUを取り付けた後、CPUソケットに取り付けられていたCPUソケットカバーは絶対に捨てないでください。本製品の修理を依頼される際に、CPUソケットカバーがCPUソケットに取り付けられていない場合は修理をお断りすることがございます。*
- *CPUを取り付ける際は、必ずCPUクーラーも取り付けてください。CPUクーラーは過熱を防ぎ、システムの安定を保つために必要です。*
- *システムを起動する前に、CPUクーラーがCPUとしっかりと密着していることを確認してください。*
- *CPUの過熱はCPU自身やマザーボードに深刻なダメージを与えるおそれがあります。システム組み立て後初回起動時に必ずCPUファンが正常に動作していることを確認してください。CPUクーラーをマザーボードへ装着する際、CPUとの接触面に適切な量の熱伝導性ペーストを塗布するか、または熱伝導性シートを挟んでください。*
- *CPUを外した状態でマザーボードを保管する場合は、必ずCPUソケットカバーを装着し、ソケットのピンを保護してください。*
- *CPUとは別にCPUクーラーを購入された場合は、CPUクーラーに添付されている文書を参照して取り付け方法の詳細を確認して下さい。*
- *このマザーボードはオーバークロックをサポートしています。オーバークロックを試みる前に、マザーボード以外のすべてのパーツがオーバークロックに耐えうるか確認してください。製品の仕様を超えるいかなる試みも推奨しません。製品の仕様を超えた不適切な取り扱いによって生じた損害やリスクをMSIは保証しません。*

DIMMスロット





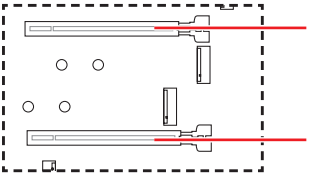
メモリモジュールの推奨取付順序



注意

- *このマザーボードはメモリ(DIMM)スロットのラッチが片側のみです。メモリモジュールの取り付けや取り外しの際は、スロット破損に十分注意をして作業を行ってください。*
- *メモリスロットは**DIMMA2**を最優先に使用して下さい。*
- *デュアルチャンネルモードでのシステムの安定性を確保するためには、同一メーカーの同一メモリモジュールを装着する必要があります。*
- *メモリの動作周波数はSPDに依存するため、オーバークロックの際に公称値より低い周波数で動作するメモリがあります。メモリを公称値かそれ以上の周波数で動作させたい場合は、BIOSメニューの**DRAM Frequency**の項目で動作周波数を設定してください。*
- *全てのDIMMスロットを使用する場合やオーバークロックをする場合はより効率的なメモリ冷却システムの使用をお薦めします。*
- *オーバークロック時の、メモリの安定性と互換性は取り付けられたCPUとデバイスに依存します。*
- *互換性があるのメモリについての詳細はwww.msi.comからご参照ください。*

PCI_E1~2: PCIe拡張スロット



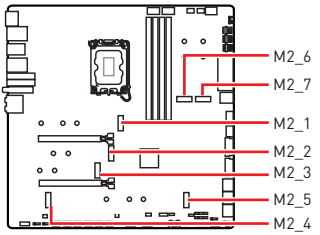
PCI_E1: PCIe 5.0 x16 (CPU帯域接続)

PCI_E2: PCIe 5.0 x8 (CPU帯域接続)

注意

- *大型且つ重いグラフィックスカードをインストールすると、スロットの変形を防止するために、**MSI Graphics Card Bolster**のようなツールを使用することが必要です。*
- *一枚のPCIe x16拡張カードを最適な性能で動作させたい場合は、**PCI_E1**スロットの使用をお勧めします。*
- *拡張カードの着脱は、必ず電源をオフにし、コンセントから電源ケーブルを抜いてから行ってください。ハードウェアまたはソフトウェアにどのような変更が必要であるかは、拡張カードのドキュメントでご確認ください。*
- *デバイスをPCI_E2スロットまたはM2_4スロットに取り付ける場合に、PCI_E1スロットはx8の速度で動作します。*
- *M.2 SSDをM2_4スロットに取り付ける場合に、PCI_E2スロットは無効になります。*

M2_1~7: M.2スロット (Key M)



スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクで M.2 SSDを取り付ける方法をビデオで確認できます。

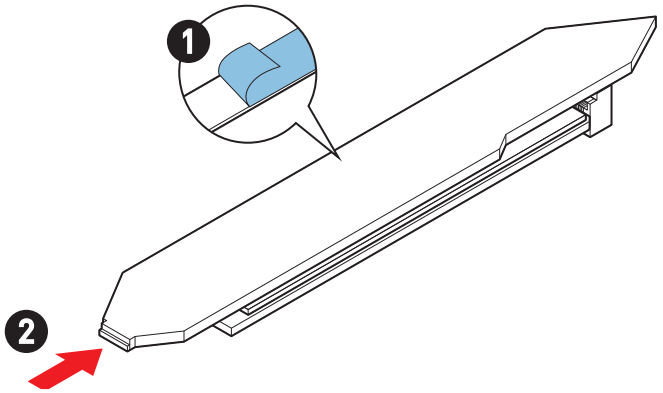
- https://youtu.be/J88vcXeLido

注意

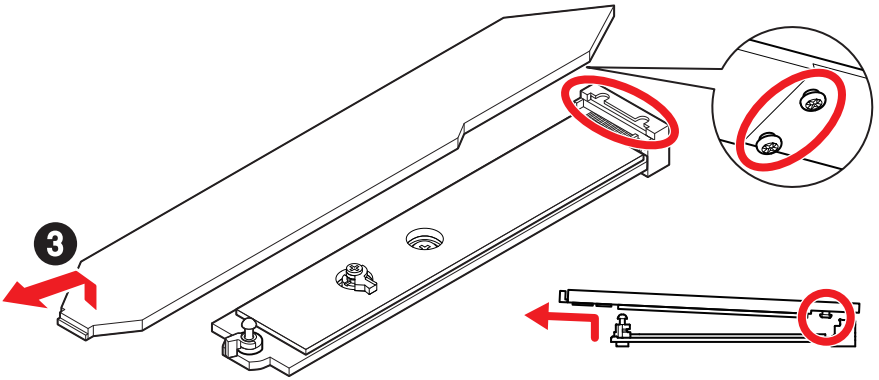
- *Intel® RSTはUEFI ROM付きのPCIe M.2 SSDのみをサポートします。*
- *M.2 SSDはヒートシンクを搭載している場合、M.2スロットのM.2プレートまたはM.2ゴムキューブを取り外してからM.2 SSDを取り付けてください。マザーボードに供給のヒートシンクを再度取付ける必要はありません。*

M2_1スロットへのM.2モジュールの取り付け

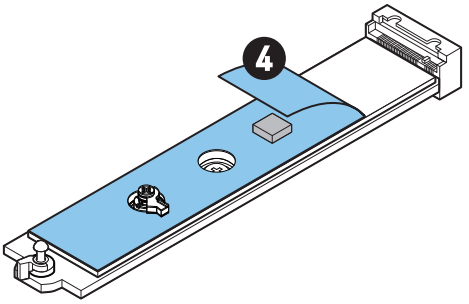
1. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの保護膜を取り外します。
2. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクのスイッチを押したままにしてください。



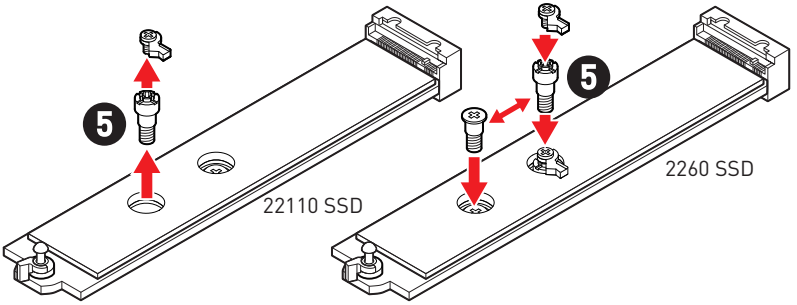
3. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの端を少し持ち上げ、取り外します。



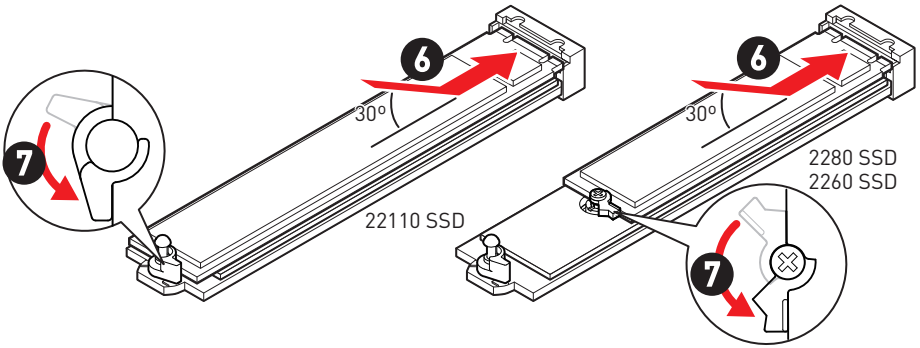
4. M.2プレートのM.2放熱パッドからゴムキューブを含む保護膜を取り外します。



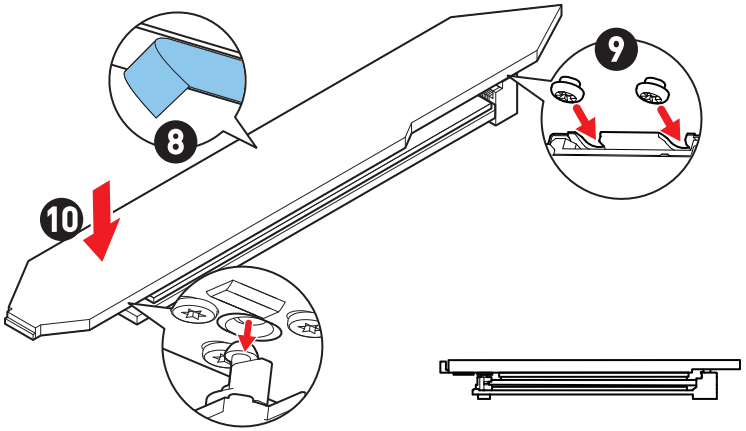
5. SSDの長さによってねじを取り外しますか、または交換します。2280 SSDが取り付けられている場合はこのステップを飛ばします。



6. 30°の角度でM.2 SSDをM.2スロットに挿入します。
7. EZ M.2クリップを回してM.2 SSDを固定します。

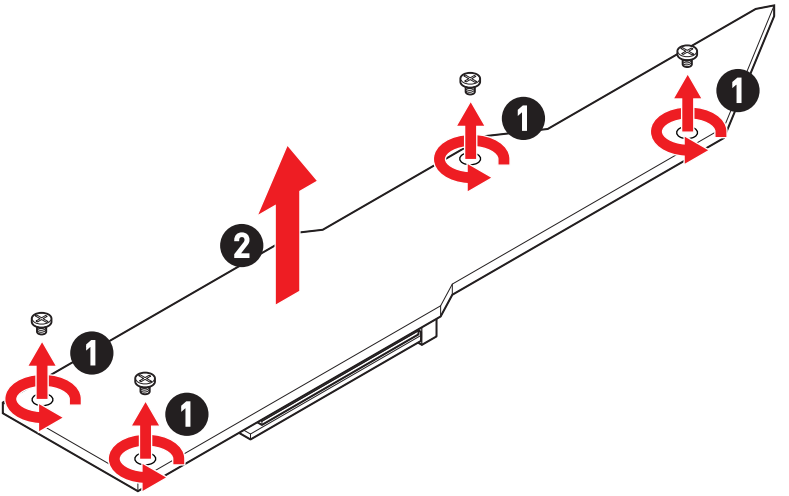


8. 底面のスクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの放熱パッドから保護膜を取り外します。
9. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの下部にある突起をコネクタ側の切り欠きに合わせ、ヒートシンクを元の位置に戻します。
10. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクをカチっと鳴るまで押すと、ヒートシンクが完全にロックします。

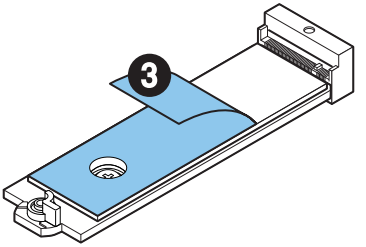


M2_2/ M2_3スロットへのM.2モジュールの取り付け

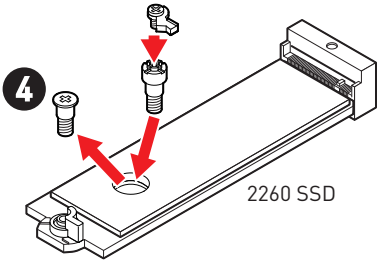
1. M.2 Shield Frozrヒートシンクのねじを緩めます。
2. M.2 Shield Frozrヒートシンクを持ち上げ、取り外します。



3. M.2プレートのM.2放熱パッドから保護膜を取り外します。

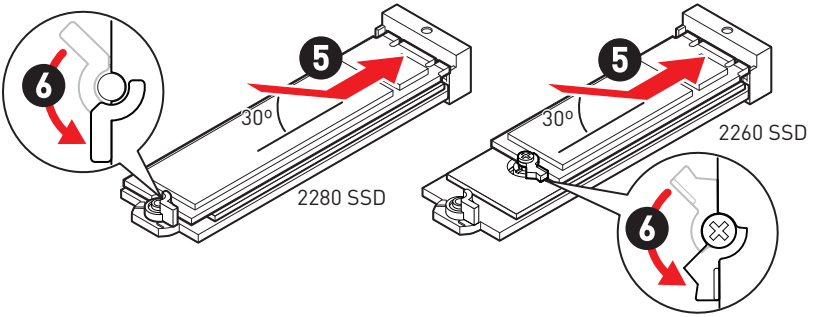


4. 2260 SSDが取り付けられている場合は、M.2プレートからねじを取り外し、供給のEZ M.2クリップキットをM.2プレートに取り付けます。2280 SSDが取り付けられている場合はこのステップを飛ばします。



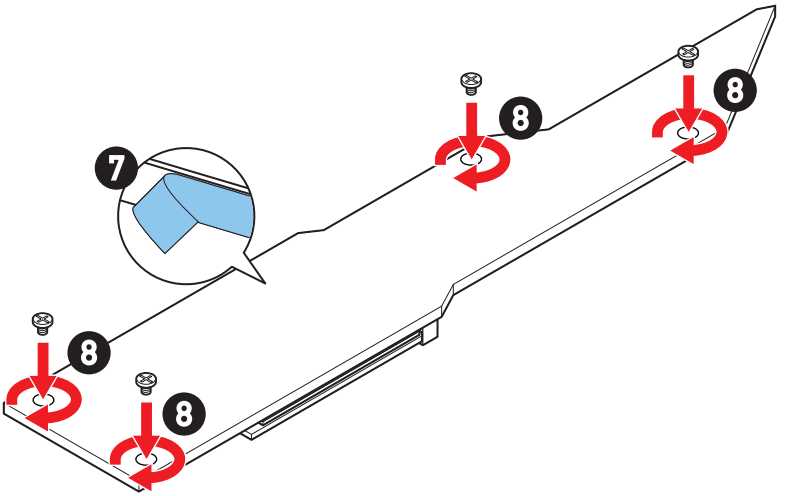
5. 30°の角度でM.2 SSDをM.2スロットに挿入します。

6. EZ M.2クリップを回してM.2 SSDを固定します。



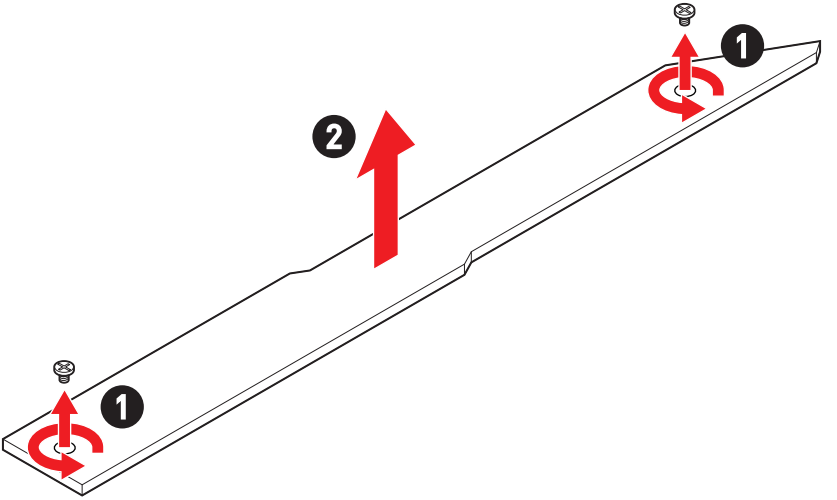
7. 底面のM.2 Shield Frozrヒートシンクの放熱パッドから保護膜を取り外します。

8. M.2 Shield Frozrヒートシンクをヒートシンクスタンドオフに固定します。

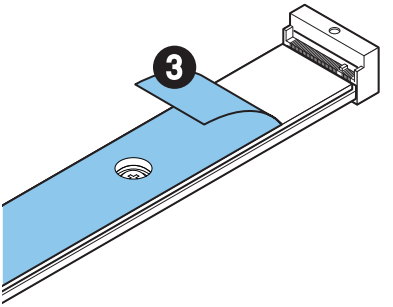


M2_4/ M2_5スロットへのM.2モジュールの取り付け

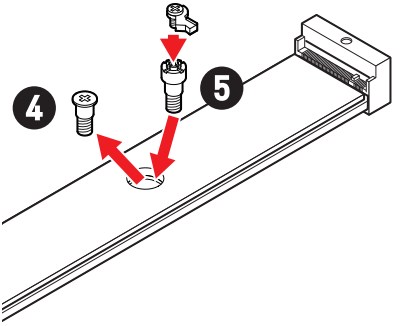
1. M.2 Shield Frozrヒートシンクのねじを緩めます。
2. M.2 Shield Frozrヒートシンクを持ち上げ、取り外します。



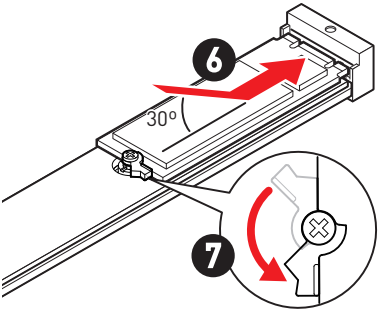
3. M.2プレートのM.2放熱パッドから保護膜を取り外します。



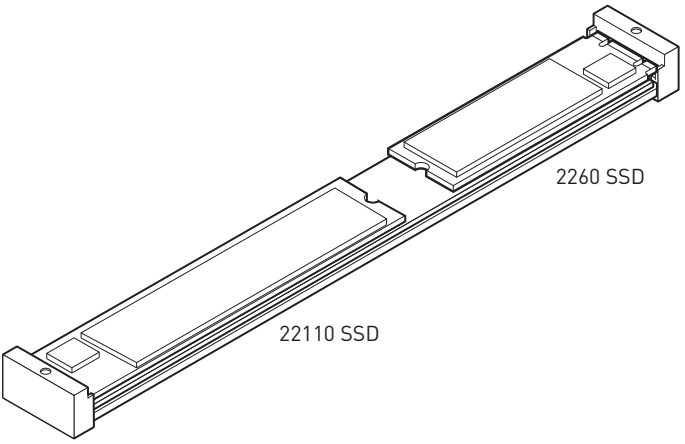
4. M.2プレートにプレートねじが取り付けられている場合、まずねじを取り外してください。そうでなければ、このステップを飛ばします。
5. M.2 SSDの長さによって供給のEZ M.2クリップキットをM.2プレートに取り付けます。

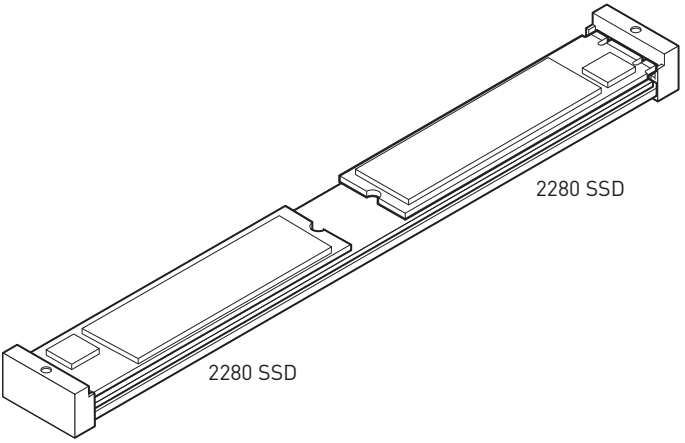


6. 30°の角度でM.2 SSDをM.2スロットに挿入します。
7. EZ M.2クリップを回してM.2 SSDを固定します。



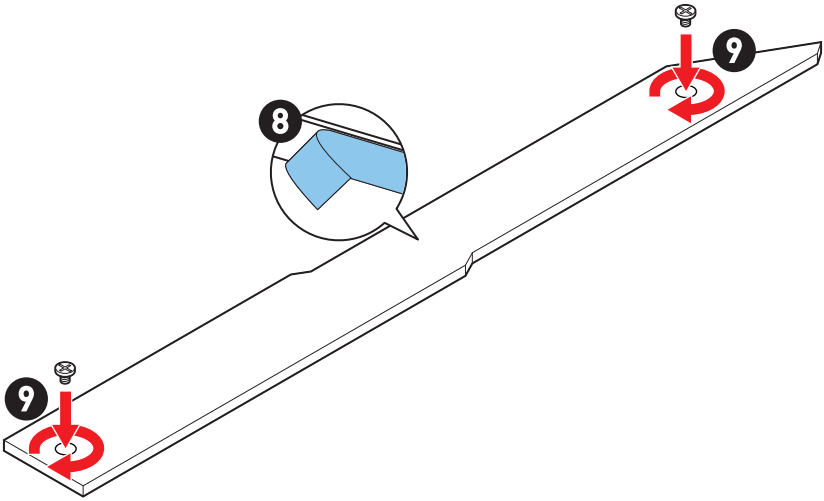
M2_4とM2_5の取り付ける方法





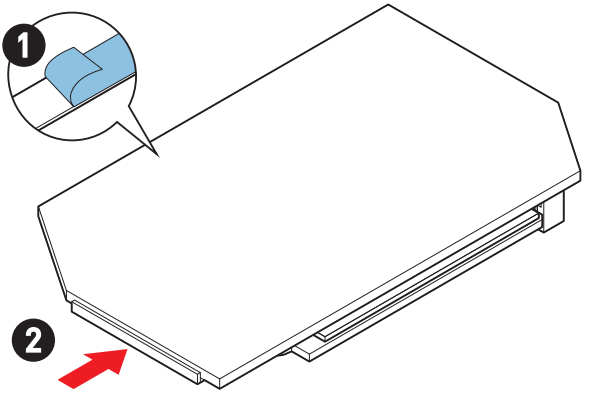
8. 底面のM.2 Shield Frozrヒートシンクの放熱パッドから保護膜を取り外します。

9. M.2 Shield Frozrヒートシンクをヒートシンクスタンドオフに固定します。

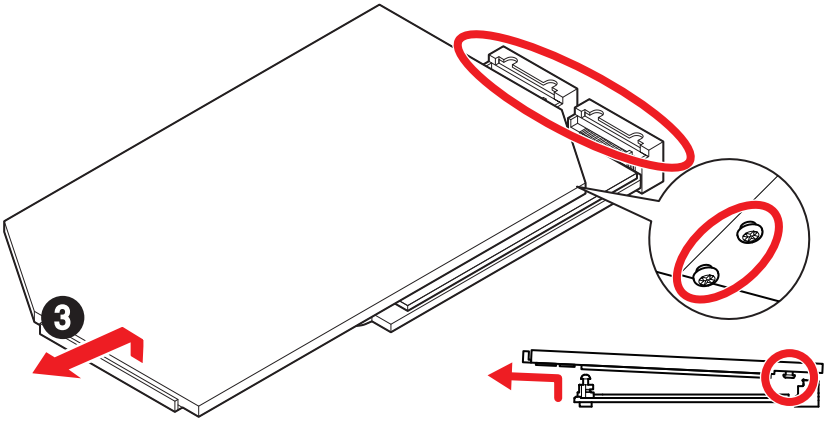


M2_6/ M2_7スロットへのM.2モジュールの取り付け

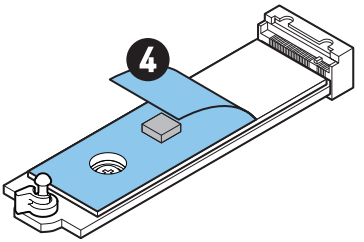
1. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの保護膜を取り外します。
2. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクのスイッチを押したままにしてください。



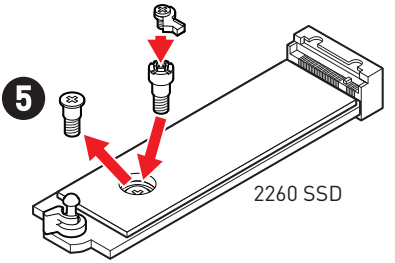
3. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの端を少し持ち上げ、取り外します。



4. M.2プレートのM.2放熱パッドからゴムキューブを含む保護膜を取り外します。

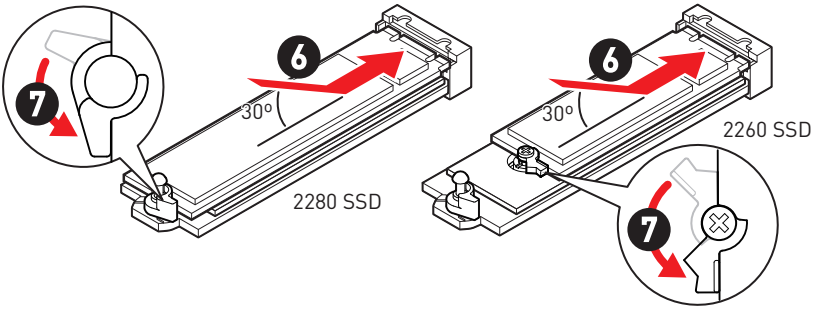


5. 2260 SSDが取り付けられている場合は、M.2プレートからプレートねじを取り外し、供給のEZ M.2クリップキットをM.2プレートに取り付けます。2280 SSDが取り付けられている場合はこのステップを飛ばします。

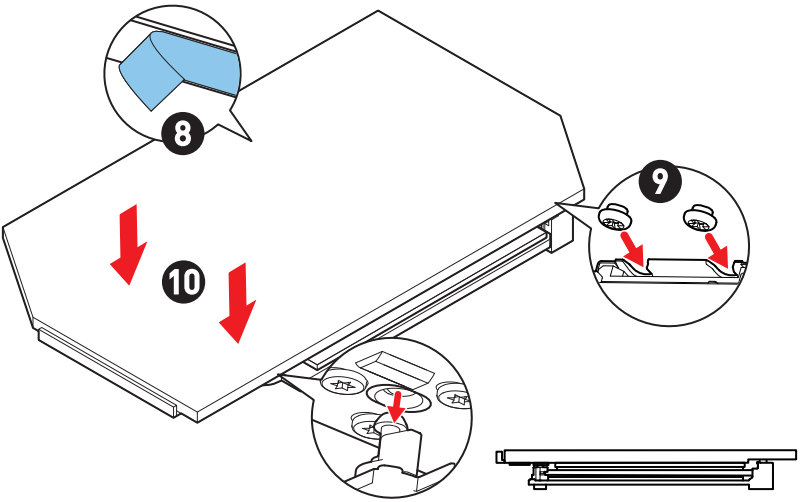


6. 30°の角度でM.2 SSDをM.2スロットに挿入します。

7. EZ M.2クリップを回してM.2 SSDを固定します。

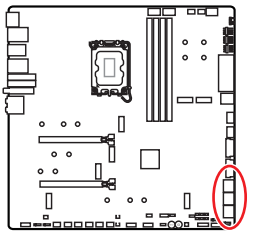


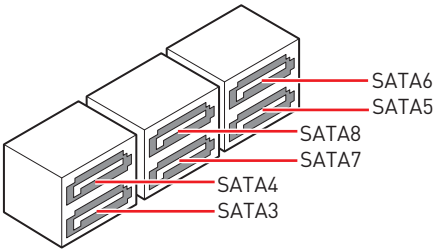
8. 底面のスクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの放熱パッドから保護膜を取り外します。
9. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクの下部にある突起をコネクタ側の切り欠きに合わせ、ヒートシンクを元の位置に戻します。
10. スクリューレスM.2 Shield Frozrヒートシンクをカチっと鳴るまで押すと、ヒートシンクが完全にロックします。



SATA3~8: SATA 6Gb/sコネクター

これらのコネクターはSATA 6Gb/sインターフェースポートです。一つのコネクターにつき、一つのSATAデバイスを接続できます。



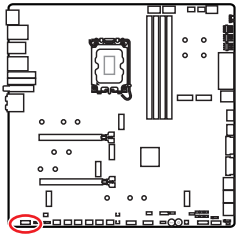


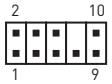
注意

- *SATAケーブルは90度以下の角度に折り曲げないでください。データ損失を起こす恐れがあります。*
- *SATAケーブルは両端に同一のプラグを備えています。然し、スペースの確保のためにマザーボードにはストレートタイプのコネクタを接続されることをお薦めします。*
- *M.2 PCIe/ SATA SSDをM2_3スロットに取り付ける場合に、SATA3~4は無効になります。*
- *M.2 PCIe SSDをM2_5スロットに取り付ける場合に、SATA5~8は無効になります。M.2 SATA SSDをM2_5スロットに取り付ける場合に、SATA7~8は無効になります。*

JAUD1: フロントオーディオコネクター

このコネクターにはフロントパネルのオーディオジャックを接続します。

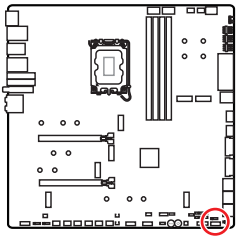


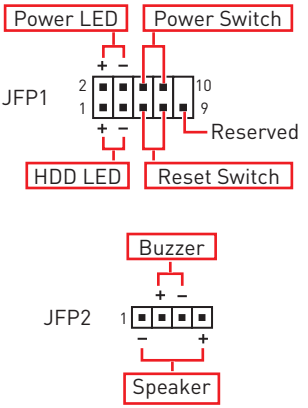


ピン	信号名	ピン	信号名
1	MIC L	2	Ground
3	MIC R	4	NC
5	Head Phone R	6	MIC Detection
7	SENSE_SEND	8	No Pin
9	Head Phone L	10	Head Phone Detection

JFP1, JFP2: フロントパネルコネクター

JFP1コネクターは電源オン、電源リセット、PCケースのLEDをコントロールします。Power Switch/ Reset Switchヘッダーには電源ボタン/ リセットボタンを接続します。Power LEDヘッダーにはPCケースのLEDを接続します。HDD LEDヘッダーはハードディスクの状態を示します。JFP2コネクターはBuzzerとSpeakerに対応しています。PCケースからケーブルを正しく接続するには、下記の図をご参照ください。



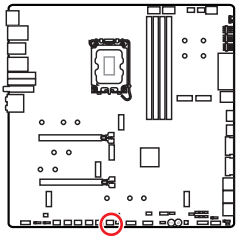


注意

Power LEDとHDD LEDはプラスとマイナスの区別があり、マザーボード上の対応するプラスとマイナスのピンヘッダーにケーブルを接続する必要があります。正しく接続されていない場合、LEDは正常に動作しませんのでご注意ください。

W_FLOW1: 水流量計コネクター

このコネクターは水流量計に接続し、液体冷却システムの流速を監視します。

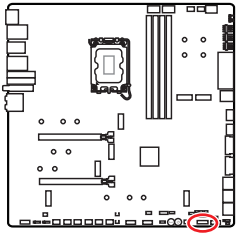


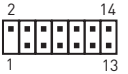


ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	WFLOW PWR
3	WFLOW IN		

JDASH1 : チューニングコントローラーコネクター

このコネクタはオプションのチューニングコントローラーモジュールを接続します。

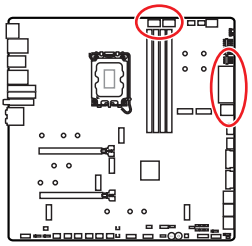




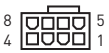
ピン	信号名	ピン	信号名
1	No Pin	2	NC
3	MCU_SMB_SCL_M	4	MCU_SMB_SDA_M
5	VCC5	6	Ground
7	PSIN#_R	8	FP_RST#_R
9	OC_RETRY#	10	OC_FS
11	BLK+	12	BLK-
13	CLRCMOS_EN	14	NC

CPU_PWR1~2、ATX_PWR1、PD_PWR1: 電源コネクター

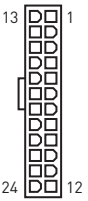
これらのコネクターにはATX電源を接続します。



CPU_PWR1~2



ATX_PWR1



PD_PWR1



CPU_PWR1~2

ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	Ground
3	Ground	4	Ground
5	+12V	6	+12V
7	+12V	8	+12V

ATX_PWR1

ピン	信号名	ピン	信号名
1	+3.3V	2	+3.3V
3	Ground	4	+5V
5	Ground	6	+5V
7	Ground	8	PWR OK
9	5VSB	10	+12V
11	+12V	12	+3.3V
13	+3.3V	14	-12V
15	Ground	16	PS-ON#
17	Ground	18	Ground
19	Ground	20	Res
21	+5V	22	+5V
23	+5V	24	Ground

PD_PWR1

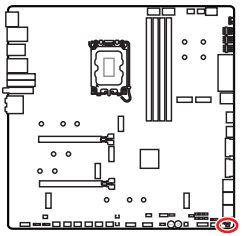
ピン	信号名	ピン	信号名
1	+12v	2	+12v
3	+12v	4	Ground
5	Ground	6	Ground

注意

- *マザーボードの安定した動作を確実にするために、全ての電源ケーブルが適切なATX電源ユニットにしっかりと接続されていることを確認して下さい。*
- *JUSB6のUSB PD 60W急速充電を行うためには、PD_PWR1コネクターを電源ユニットに接続する必要があります。*

JCI1: ケース開放スイッチコネクター

このコネクターにはケース開放スイッチケーブルを接続します。





正常
(デフォルト)



ケース開放イベントト
リガー有効

ケース開放検知機能の使い方

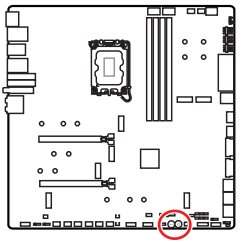
1. **JCI1**コネクターをケース開放スイッチ/センサーに接続します。
2. ケースのカバーを閉じます。
3. **BIOS > SETTINGS > Security > Chassis Intrusion Configuration**に入ります。
4. **Chassis Intrusion**を**Enabled**に設定します。
5. **F10**を押すと、設定を保存して終了するかメッセージが出ますので、**Enter**キーを押して**Yes**を選択します。
6. ケースが開けられるとシステムに開放の情報が記録され、次回のシステム起動時に警告メッセージが表示されます。

ケース開放警告のリセット

1. **BIOS > SETTINGS > Security > Chassis Intrusion Configuration**に入ります。
2. **Chassis Intrusion**を**Reset**に設定します。
3. **F10**を押すと、設定を保存して終了するかメッセージが出ますので、Enterキーを押して**Yes**を選択します。

POWER1, RESET1: 電源ボタン、リセットボタン

電源/ リセットボタンでPCをオン/ リセットできます。





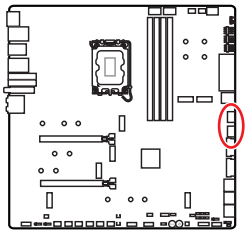
リセットボタン

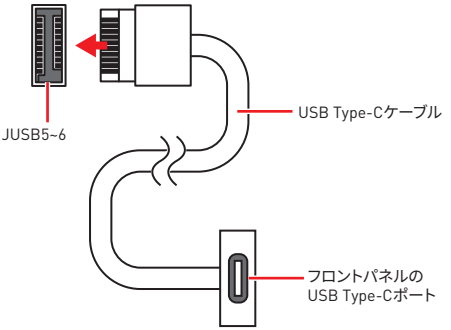


電源ボタン

JUSB5~6: USB 3.2 Gen 2x2 Type-Cフロントパネルコネクター

これらのコネクターにはフロントパネルのUSB 3.2 Gen 2x2 20Gbps Type-Cコネクターを接続します。これらのコネクターは確実なデザインを持っています。ケーブルを接続すると、対応方向で接続することを確認してください。



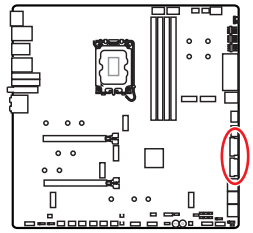


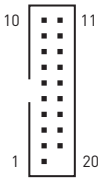
注意

JUSB6のUSB PD 60W急速充電を行うためには、PD_PWR1コネクターを電源ユニットに接続する必要があります。

JUSB3~4: USB 3.2 Gen 1コネクター

これらのコネクターにはフロントパネルのUSB 3.2 Gen 1 5Gbpsポートを接続します。





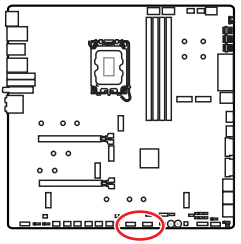
ピン	信号名	ピン	信号名
1	Power	2	USB3_RX_DN
3	USB3_RX_DP	4	Ground
5	USB3_TX_C_DN	6	USB3_TX_C_DP
7	Ground	8	USB2.0-
9	USB2.0+	10	Ground
11	USB2.0+	12	USB2.0-
13	Ground	14	USB3_TX_C_DP
15	USB3_TX_C_DN	16	Ground
17	USB3_RX_DP	18	USB3_RX_DN
19	Power	20	No Pin

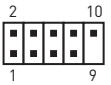
注意

電源とグランドピンは必ず接続してください。正しく接続されていない場合、機器が損傷するおそれがあります。

JUSB1~2: USB 2.0コネクター

これらのコネクターにはフロントパネルのUSB 2.0ポートを接続します。





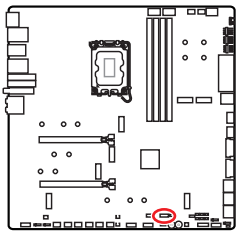
ピン	信号名	ピン	信号名
1	VCC	2	VCC
3	USB0-	4	USB1-
5	USB0+	6	USB1+
7	Ground	8	Ground
9	No Pin	10	NC

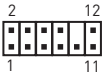
注意

- *VCCピンとグランドピンは必ず接続してください。正しく接続されていない場合、機器が損傷するおそれがあります。*
- *これらのUSBポートでiPad、iPhoneとiPodを再充電するには、MSI Centerユーティリティをインストールしてください。*

JTPM1: TPMモジュールコネクター

このコネクターはTPM (Trusted Platform Module)を接続します。詳細についてはTPMセキュリティプラットホームマニュアルを参照して下さい。

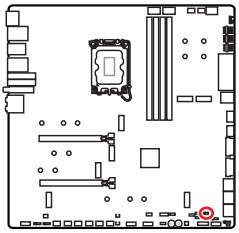




ピン	信号名	ピン	信号名
1	SPI Power	2	SPI Chip Select
3	Master In Slave Out (SPI Data)	4	Master Out Slave In (SPI Data)
5	Reserved	6	SPI Clock
7	Ground	8	SPI Reset
9	Reserved	10	No Pin
11	Reserved	12	Interrupt Request

JSL0W1: スローモード起動ジャンパ

このジャンパは極限のオーバークロック状態を提供するLN2クーリングソリューションにおいて、安定した周波数でプロセッサを起動しシステムをクラッシュから守るために使われます。





正常

(デフォルト)

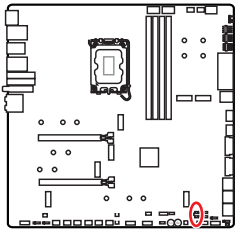


有効

(BIOS POSTの間にこの機能を有効にしてください。)

JLN1~2: 低温度起動ジャンパ

このジャンパは液体窒素冷却システムにおいて使われて、極低温で起動できます。ジャンパを有効にすると、起動の成功率を上げます。





正常

(デフォルト)



有効

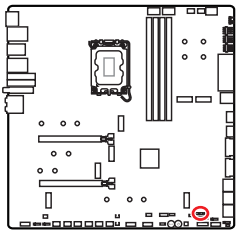
(BIOS POSTの間にこの機能を有効にしてください。)

注意

- *極端な低温度でのオーバークロックは、システムが不安定になり、破損するおそれがありますのでご注意ください。*
- *オーバークロックの結果は使用するCPUンによって異なる場合があります。*
- *電源オフの時に、ジャンパを有効に設定しないでください。そうでなければ、システムが起動しなくなります。*

JOC_FS1: セーフブートジャンパ

セーフブート用のジャンパです。ジャンパを有効にすると、システムはデフォルト設定とより低いPCIe (CPU帯域接続) モードで起動します。





正常
(デフォルト)

保存したBIOS設定で起動します。

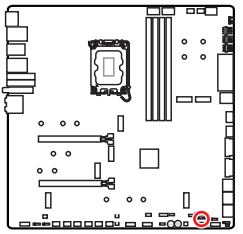


有効

セーフブート時はBIOSのデフォルト設定とより低いPCIe (CPU帯域接続) モードを適用します。

JOC_RT1: OC Retryボタンコネクター

このコネクターはボタンを接続します。このボタンを押したままにすると、システムが成功に起動をするまでOC項目を再試行し続けます。





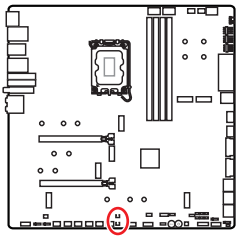
正常
(デフォルト)

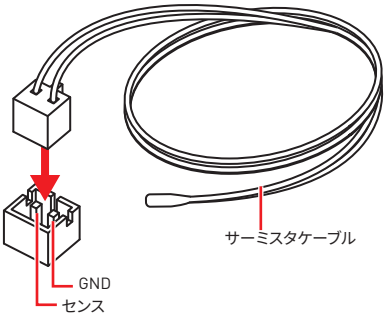


Retry OC

T_SEN1~2: 熱センサーコネクター

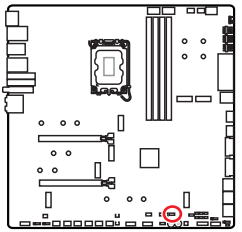
これらのコネクターはサーミスタケーブルを接続し、検出ポイントの温度を監視することができます。

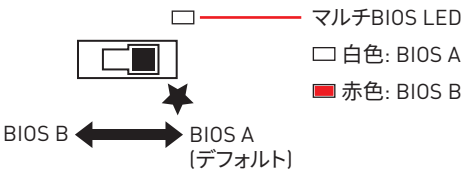




BIOS_SW1: マルチBIOSスイッチ

本製品は内蔵のBIOS ROMを二つ搭載しておきます。一つがクラッシュされると、このスイッチを滑り、他のROMに移動して起動します。





注意

- *システムが起動している場合は、マルチBIOSスイッチを使用しないでください。*
- ***MSI Center*または*Flash BIOS Button*でBIOSをフラッシュする可能性があります。詳細については*BIOS*セクションをご参照ください。**

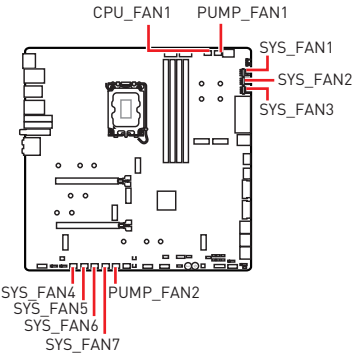
CPU_FAN1, PUMP_FAN1~2, SYS_FAN1~7: ファンコネクター

ファンコネクターはPWM（パルス幅変調）モードとDCモードに分類されます。PWMモードファンコネクターには常時12Vが出力されており、スピードコントロール信号によってファンスピードを調整します。DCモードファンコネクターは電圧出力を変えることでファンスピードをコントロールします。自動モードファンコネクターは自動的にPWMまたはDCモードを検出することができます。

BIOS> HARDWARE MONITORパネルで、ファンをコントロールします。DCまたはPWMをファンタイプに設定することができます。**スマートファンモード**をチェックすると、ファンの速度はCPUまたはシステムの温度によって変わります。**スマートファンモード**のチェックを外すと、ファンは最大速度で動作します。

注意

PWM/ DCモードを切り替えた後、ファンが正しく動作していることを確認してください。





PWMモードのピンの定義

ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	+12V
3	Sense	4	Speed Control Signal

DCモードのピンの定義

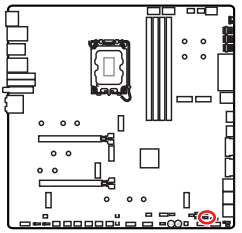
ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	Voltage Control
3	Sense	4	NC

ファンコネクターの仕様

コネクター	デフォルトファンモード	最大電流	最大電源
CPU_FAN1	自動モード	2A	24W
PUMP_FAN1~2	PWMモード	3A	36W
SYS_FAN1~7	自動モード	2A	24W

JBAT1: クリアCMOS (BIOSリセット) ジャンパー

本製品はシステムの設定情報を保持するCMOSメモリを搭載しており、マザーボード上のボタン型電池から電力が供給されます。システムの設定をクリアしたい場合は、CMOSメモリをクリアするためにジャンパピンにジャンパブロックを取り付けてください。





データを
保持
(デフォルト)



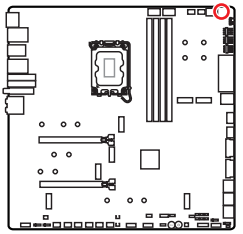
CMOSをクリア/
BIOSをリセット

BIOSをデフォルト値にリセットする

1. PCの電源をオフにし、コンセントから電源コードを抜いて下さい。
2. ジャンパブロックで**JBAT1**を5-10秒ぐらいショットします。
3. **JBAT1**からジャンパブロックを取り外します。
4. 電源コードをコンセントに元通りに接続し、電源を投入します。

V-Checkポイント

これらの電圧チェックポイントは現在のシステムの電圧を測ります。電圧のチェックにはマルチメーター(含まれない)が必要です。電圧をチェックするには、試験導線をGND (ねじの取り付け穴) とV-Checkポイントに置きます。詳細についてはマルチメーターのマニュアルを参照してください。

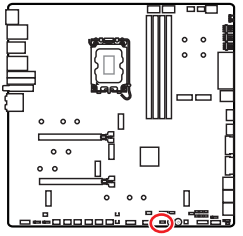


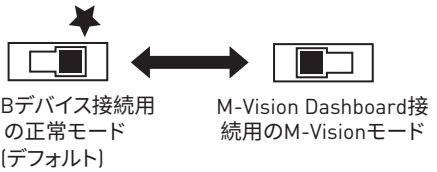
VCC GND
VCCIN_AUX CPU VDD2

VCC: コア電圧
GND: グランド
VCCIN_AUX: VCCIN電圧
CPU VDD2: CPU VDDIO電圧

M_SW1: M-Visionスイッチ

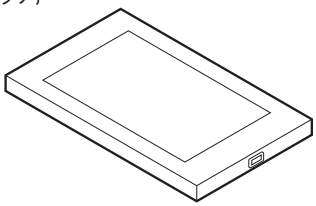
M-Visionスイッチで、M-Vision Dashboardポートを正常モードとM-Visionモードの間で切り替えることができます。





M-Vision Dashboardの機能

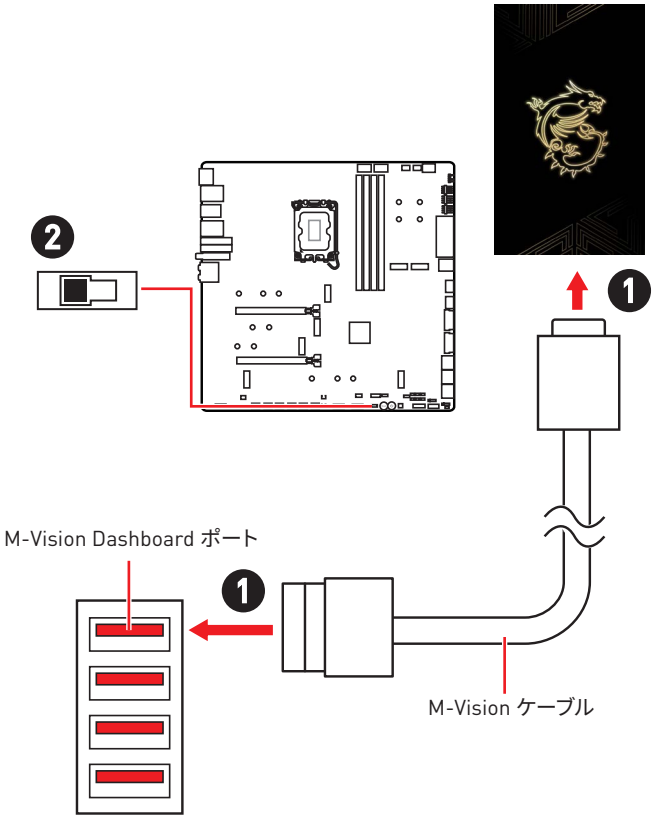
- 4.5インチIPS LCDパネル (抵抗膜方式シングルタッチ)
- フルカラーディスプレイ (480x 800)
- タッチコントロール
- USB Type-C接続
- スピーカー機能
- 横向き/縦向き
- MSI Centerでカスタマイズ可能



M-Vision Dashboardの接続

下記の手順に従ってM-Vision Dashboardを接続してください。

1. 供給のM-Visionケーブルを M-Vision Dashboardに接続し、バックパネルのUSBポート (M-Vision Dashboardポート)を指定します。
2. M-Visionスイッチ(M_SW1)をM-Visionモードに切り替えます。

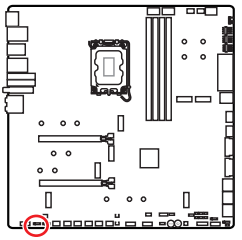


注意

M-Vision Dashboardについての詳細は
https://download.msi.com/archive/mnu_exe/mb/M-VISIONDASHBOARD.pdf
からご参照ください。

JRGB1: RGB LEDコネクター

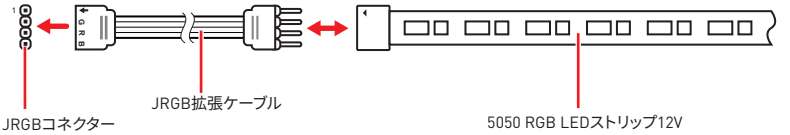
JRGBコネクターは5050 RGB LEDストリップ12Vを接続します。



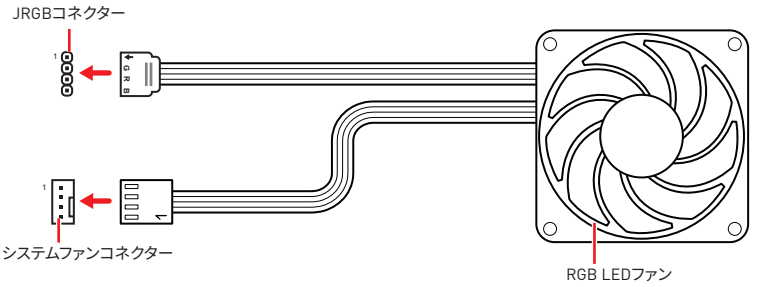


ピン	信号名	ピン	信号名
1	+12V	2	G
3	R	4	B

RGB LEDストリップコネクター



RGB LEDファンコネクター

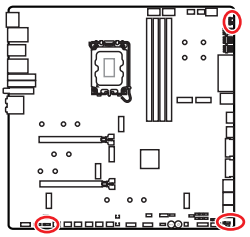


注意

- *JRGBコネクターは長さ2m以下のものを御使用ください。定格最大出力は3A (12V) で、5050 RGB LEDストリップ(12V/G/R/B)をサポートします。*
- *RGB LEDストリップの着脱は、必ず電源ユニットのスイッチをオフにして電源コードを抜いた状態で実施してください。*
- *MSIのソフトウェアで拡張 LEDストリップをコントロールします。*

JARGB_V2_1~3: A-RAINBOW V2 (ARGB Gen2) LEDコネクター

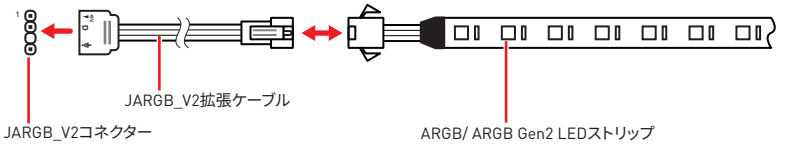
JARGB_V2コネクターはARGB Gen2とARGB LEDストリップを接続することができます。JARGB_V2コネクターの定格最大出力は3A (5V)で、240個々にアドレス指定可能なRGB LEDをサポートします。



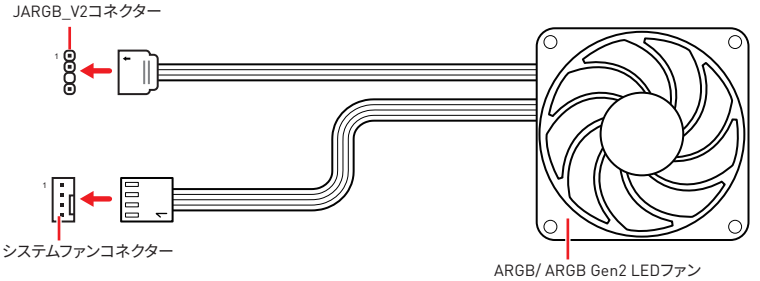


ピン	信号名	ピン	信号名
1	+5V	2	Data
3	No Pin	4	Ground

アドレス指定可能なRGB LEDストリップコネクター



アドレス指定可能なRGB LEDファンコネクター



警告

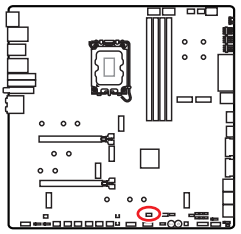
間違ったタイプのLEDストリップを接続しないでください。JRGBコネクターとJARGB_V2コネクターは異なる電圧を供給し、ARGB 5V LEDストリップをJRGBコネクターに接続すると、LEDストリップが損傷します。

注意

- *故障する恐れがあるのでARGB Gen1LED規格とARGB Gen2規格のデバイスを同時使用しないでください。*
- *鮮やかなLEDライティング効果を得るためには、同規格のRGBデバイスで統一することを強く推奨いたします。*
- *アドレス指定可能なRGB LEDストリップの着脱は、必ず電源ユニットのスイッチをオフにして電源コードを抜いた状態で実施してください。*
- *MSIのソフトウェアで拡張 LEDストリップをコントロールします。*

JAF_1: 内蔵ARGB LED & システムファンコネクター

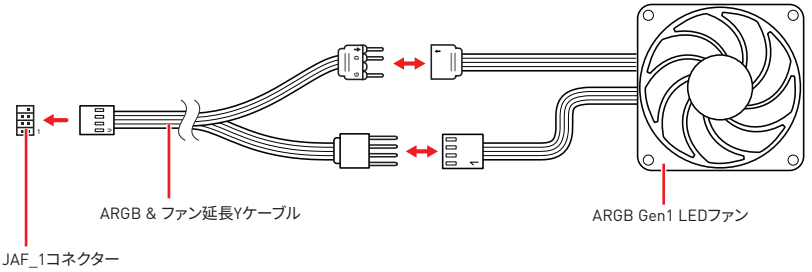
このコネクターにはARGB Gen1 LEDストリップとシステムファンを接続します。





ピン	信号名	ピン	信号名
1	Ground	2	5V
3	12V	4	DATA
5	Sense	6	Ground
7	Speed Control Signal	8	No Pin

アドレス指定可能なRGB LEDファンコネクター



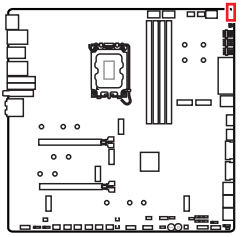
注意

JAF_1コネクターはARGB Gen2 LEDデバイスと互換性がありません。このコネクターに接続すると、ARGB Gen2 LEDデバイスが正常に動作しない場合があります。

オンボードLED

EZ Debug LED

これらのLEDはメモリモジュールが取り付けられたことを表示します。



CPU - CPUが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

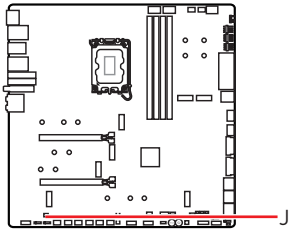
DRAM - DRAMが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

VGA - GPUが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

BOOT - ブートデバイスが検出されないか、または認識に失敗したことを示します。

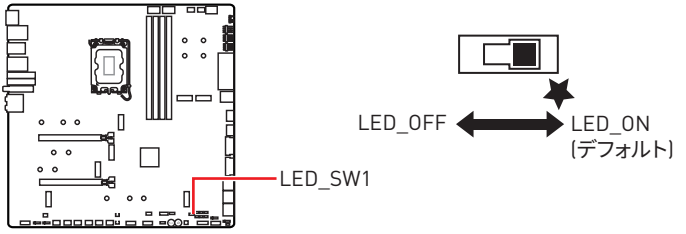
JPWRLED1: LED電源入力

このコネクターは販売店よりオンボードLEDの照明効果を示します。



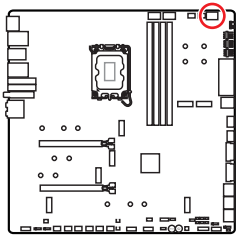
LED_SW1: EZ LEDコントロール

このスイッチはマザーボードのすべてのLEDをオン/ オフに切り替えることができます。



デバッグコードLED

デバッグコードLEDにはPOST中・POST後の進行状況とエラーコードが表示されます。詳細についてはデバッグコードLED一覧表をご参照ください。



16進文字一覧表

16進数	0	1	2	3	4	5	6	7
LED表示	0	1	2	3	4	5	6	7
16進数	8	9	A	B	C	D	E	F
LED表示	8	9	A	b	C	d	E	F

ブートフェーズ

Security (SEC) – 初期のローレベル初期化

Pre-EFI Initialization (PEI) – メモリ初期化

Driver Execution Environment (DXE) – メインハードウェア初期化

Boot Device Selection (BDS) – システムセットアップ、pre-OSユーザーインターフェースおよび起動可能なデバイスの選択 (CD/DVD、HDD、USB、ネットワーク、Shell, ...)

デバッグコードLED一覧表

SEC進行コード

01	電源オン。タイプ検出をリセット (ソフト/ハード)
02	マイクロコードロード前のAP初期化
03	マイクロコードロード前のシステムエージェント初期化
04	マイクロコードロード前のPCH初期化
06	マイクロコードロード
07	マイクロコードロード後のAP初期化
08	マイクロコードロード後のシステムエージェント初期化
09	マイクロコードロード後のPCH初期化
0B	キャッシュ初期化

SECエラーコード

0C - 0D	未定義 (SECエラーコード用に予約済み)
0E	マイクロコードが見つからない
0F	マイクロコードがロードされていない

PEI進行コード

10	PEIコア開始
11	Pre-memory CPU初期化開始
12 - 14	Pre-memory CPU初期化 (CPUモジュール固有)
15	Pre-memoryシステムエージェント初期化開始
16 - 18	Pre-Memoryシステムエージェント初期化 (システムエージェントモジュール固有)
19	Pre-memory PCH初期化開始
1A - 1C	Pre-memory PCH初期化 (PCHモジュール固有)
2B	メモリ初期化：SPD(Serial Presence Detect)データの読み込み
2C	メモリ初期化：メモリ存在確認
2D	メモリ初期化：メモリタイミング情報のプログラミング
2E	メモリ初期化：メモリ設定
2F	メモリ初期化：その他
31	メモリが装着された
32	CPU post-memory初期化開始
33	CPU post-memory初期化：キャッシュ初期化
34	CPU post-memory初期化：アプリケーションプロセッサー(AP)初期化
35	CPU post-memory初期化：ブートストラッププロセッサー(BSP)選択
36	CPU post-memory初期化：システムマネジメントモード(SMM)初期化
37	Post-Memoryシステムエージェント初期化開始
38 - 3A	Post-Memoryシステムエージェント初期化 (システムエージェントモジュール固有)
3B	Post-Memory PCH初期化開始
3C - 3E	Post-Memory PCH初期化 (PCHモジュール固有)
4F	DXE IPL開始

PEIエラーコード

50	メモリ初期化エラー：無効なメモリタイプまたは非互換のメモリスピード
51	メモリ初期化エラー：SPD読み込み失敗

52	メモリ初期化エラー：不正なメモリサイズまたはメモリモジュールの不整合
53	メモリ初期化エラー：使用可能なメモリが検出されない
54	指定外のメモリ初期化エラー
55	メモリが取り付けられていない
56	無効なCPUタイプまたはスピード
57	CPUミスマッチ
58	CPU自己診断の失敗、またはCPUキャッシュエラーの可能性
59	CPUマイクロコードが見つからない、またはマイクロコードのアップデート失敗
5A	CPU内部エラー
5B	PPIリセットが無効
5C - 5F	未定義（エラーコード用に予約済み）

DXE進行コード

60	DXEコア開始
61	NVRAM初期化
62	PCHランタイムサービスのインストール
63	CPU DXE初期化開始
64 - 67	CPU DXE初期化（CPUモジュール固有）
68	PCIホストブリッジ初期化
69	システムエージェントDXE初期化開始
6A	システムエージェントDXE SMM初期化開始
6B - 6F	システムエージェントDXE初期化（システムエージェントモジュール固有）
70	PCH DXE初期化開始
71	PCH DXE SMM初期化開始
72	PCHデバイス初期化
73 - 77	PCH DXE初期化（PCHモジュール固有）
78	ACPIモジュール初期化
79	CSM初期化
7A - 7F	未定義（DXEコード用に予約済み）

90	ブートデバイス選択フェーズ開始
91	ドライバー接続開始
92	PCIバス初期化開始
93	PCIバスホットプラグコントローラー初期化
94	PCIバス Enumeration 32
95	PCIバス リソース要求
96	PCIバス リソース割り当て
97	コンソール出力デバイスの接続
98	コンソール入力デバイスの接続
99	スーパーIO初期化
9A	USB初期化開始
9B	USB Reset
9C	USB検出
9D	USB有効
9E -9F	未定義 (予約済み)
A0	IDE初期化開始
A1	IDE Reset
A2	IDE検出
A3	IDE有効
A4	SCSI初期化開始
A5	SCSI Reset
A6	SCSI検出
A7	SCSI有効
A8	パスワード確認のセットアップ
A9	セットアップの開始
AB	入力ウェイトのセットアップ
AD	ブートイベント準備完了
AE	レガシーブートイベント
AF	ブートサービスイベント終了

B0	ランタイムセット仮想アドレスMAP開始
B1	ランタイムセット仮想アドレスMAP終了
B2	レガシーOption ROM初期化
B3	システムリセット
B4	USBホットプラグ
B5	PCIバスホットプラグ
B6	NVRAMのクリナップ
B7	設定リセット (NVRAM設定のリセット)
B8 - BF	未定義 (予約済み)

DXEエラーコード

D0	CPU初期化エラー
D1	システムエージェント初期化エラー
D2	PCH初期化エラー
D3	有効でないアーキテクチャプロトコルがある
D4	PCIリソース割り当てエラー。リソースが不足している
D5	レガシーOption ROM用のスペースがない
D6	コンソール出力デバイスが見つからない
D7	コンソール入力デバイスが見つからない
D8	無効パスワード
D9	ブートオプションロード中のエラー (LoadImageがエラーを返した)
DA	ブートオプション失敗 (StartImageがエラーを返した)
DB	フラッシュアップデート失敗
DC	リセットプロトコルが有効でない

S3レジューム進行コード

E0	S3レジューム開始 (S3 Resume PPIがDXE IPLによってコールされた)
E1	S3ブートスクリプト実行
E2	ビデオリポスト
E3	OS S3 wakeベクトルコール

E4 - E7	未定義 (予約済み)

S3ジュームエラーコード

E8	S3レジューム失敗
E9	S3レジュームPPIが見つからなかった
EA	S3レジュームブートスクリプトエラー
EB	S3 OS Wakeエラー
EC - EF	未定義 (エラーコード用に予約済み)

リカバリー進行コード

F0	ファームウェアによるリカバリー条件 (自動リカバリー)
F1	ユーザーによるリカバリー条件 (強制リカバリー)
F2	リカバリープロセス開始
F3	リカバリーファームウェアイメージが見つかった
F4	リカバリーファームウェアイメージがロードされた
F5 - F7	未定義 (予約済み)

リカバリーエラーコード

F8	リカバリーPPIが有効でない
F9	リカバリーカプセルが見つからない
FA	無効なリカバリーカプセル
FB - FF	未定義 (エラーコード用に予約済み)

ACPIステータスコード

下記のコードはOSがACPIモードに入っている際に表示されます。

01	システムがS1スリープ状態です
02	システムがS2スリープ状態です
03	システムがS3スリープ状態です
04	システムがS4スリープ状態です
05	システムがS5スリープ状態です
10	システムがS1スリープ状態から復帰中です
20	システムがS2スリープ状態から復帰中です

30	システムがS3スリープ状態から復帰中です
40	システムがS4スリープ状態から復帰中です
AC	システムはACPIモードに移行中です。割り込みコントローラーはPICモードです。
AA	システムはACPIモードに移行中です。割り込みコントローラーはAPICモードです。

CPUの温度

00 - 99	OS起動後は現在のCPUの温度が表示されます。

OS、ドライバーおよびMSI Centerのインストール

www.msi.comから最新のユーティリティとドライバーをダウンロードしてアップデートしてください。

Windows 11のインストール

1. PCの電源をオンにします。
2. Windows 11のインストールメディアを光学ドライブに挿入します。
3. PCケースの**Restart**ボタンを押します。
4. POST (Power-On Self Test)中に**F11**キーを押し、ブートメニューに入ります。
5. ブートメニューから光学ドライブを選択します。
6. **Press any key to boot from CD or DVD...** というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。(スペースキーやEnterキーが無難です。) 表示されない場合、このステップを飛ばします。
7. 画面に表示される説明に従ってWindows 11をインストールします。

ドライバーのインストール

1. Windows 11を起動させます。
2. MSI® USBドライバーをUSBポートに挿入します。
3. 「**Select to choose what happens with this disc**」ポップアップ通知をクリックし、それから**Run DVDSetup.exe**を選択してインストーラーを開きます。Windowsコントロールパネルからの自動再生機能をオフにすると、ユーザーはまだMSI USBドライバーのルートパスから**DVDSetup.exe**を手動で実行します。
4. インストーラーが自動的に起動し、必要な**ドライバー/ソフトウェア**を全部リストアップします。
5. **Install**ボタンをクリックします。
6. ソフトウェアのインストールが始まります。完了した後にシステムの再起動を促されます。
7. **OK**ボタンを押して、インストールを完了させます。
8. PCを再起動させます。

MSI Center

MSI Centerはゲーム設定の最適化とコンテンツ作成ソフトの使用に役立つアプリケーションです。また、PCや他のMSI製品のLEDライトの効果を操作し、同期することができます。MSI Centerにより、モードをカスタマイズしたり、システムを管理やファンの回転速度を調整したりできます。

MSI Centerユーザーズガイド

MSI Centerの詳細情報は、

http://download.msi.com/manual/mb/MSICENTER.pdf

またはQRコードからアクセスしてください。

注意

機能はご購入した製品によって異なる場合があります。

UEFI BIOS

MSI UEFI BIOSはUEFI (Unified Extensible Firmware Interface)アーキテクチャと互換性があります。UEFIは、従来のBIOSでは実現できない新機能と利点を多く持っています、将来は完全にBIOSに取って代わることができます。MSI UEFI BIOSは、デフォルトのブートモードとしてUEFIを使用し、新しいチップセットの機能を最大限に活用することができます。

注意

ほかの説明がない限り、本ユーザマニュアルの用語のBIOSはUEFI BIOSを指します。

UEFIの利点

- クイック起動 - UEFIは直接にオペレーティングシステムを起動し、BIOSセルフテストプロセスを保存することができます。また、POST時にCSMモードに切り替えにかかる時間も排除します。
- 2 TBより大きいハードディスクドライブパーティションをサポートします。
- GUID Partition Table (GPT) 付きのプライマリパーティションを4つ以上にサポートします。
- 無制限のパーティションをサポートします。
- 新しいデバイスの全機能をサポート - 新しいデバイスは互換性がない場合があります。
- セキュリティ起動をサポート - UEFIは、オペレーティングシステムの有効性をチェックして、起動プロセスにはマルウェアがないことを確認します。

互換性のないUEFIケース

- **32ビットWindowsオペレーティングシステム** - このマザーボードはWindows 11 64ビットオペレーティングシステムのみをサポートします。
- **古いグラフィックカード** -システムはグラフィックカードを検出します。古いグラフィックカードを使用すると、**このグラフィックカードにはGOP (Graphics Output Protocol)サポートを検出できません**の警告メッセージが表示されます。

注意

正常な機能を持つために、GOP / UEFI対応のグラフィックスカードに置き換えるか、CPUの統合グラフィックスを使用することを推奨いたします。

BIOSモードを確認する方法

1. PCの電源をオンにします。
2. 起動中に、「**Press DEL key to enter Setup Menu, F11 to enter Boot Menu**」というメッセージが表示されている間に<**Delete**>キーを押してください。
3. BIOSに入ったら、画面上部に**BIOSモード**があります。



BIOSの設定

BIOSのデフォルト設定は、通常の使用においてシステムの安定性のために最適な性能を提供します。ユーザーがBIOSに精通していない場合は、起こり得るシステムへのダメージや起動の失敗を防ぐために、**常にデフォルト設定のまま**にすべきです。

注意

- *BIOSは性能の向上のために、継続的に変更と修正が行われています。最新のBIOSと本書の内容に齟齬が発生してしまう場合があります。あらかじめご承知おきください。BIOSの設定項目の詳細は**HELP**情報パネルを参照してください。*
- *BIOSの画面、オプションと設定はシステムにより異なる場合があります。*

BIOSセットアップ画面の起動

起動中に、「**Press DEL key to enter Setup Menu, F11 to enter Boot Menu**」というメッセージが表示されている間に＜**Delete**＞キーを押してください。

機能キー

F1: ヘルプを参照する

F2: お気に入り項目を追加/ 削除する

F3: お気に入りメニューに入る

F4: CPU仕様メニューに入る

F5: Memory-Zメニューに入る

F6: 工場出荷時の設定値に戻す

F7: アドバンストモードとEZモードの間に切り替える

F8: OCプロファイルをロードする

F9: OCプロファイルをセーブする

F10: 設定を保存して再起動させる*

F12: スクリーンショットが撮られ、USBメモリに保存されます (FAT/ FAT32フォーマットのみ)

Ctrl+F: 検索ページに入る

* <F10>キーを押すと確認ウィンドウが表示され、修正情報が表示されます。YesまたはNoを選択して確認してください。

BIOSユーザーズガイド

BIOSの設定の他の説明は、
https://download.msi.com/archive/mnu_exe/mb/Intel700BIOSjp.pdf
またはQRコードからアクセスしてください。

注意

機能はご購入した製品によって異なる場合がります。

BIOSのリセット

特定の問題を解決するために、BIOSをデフォルト設定に戻す必要があります。BIOSのリセットにはいくつかの方法があります。

- BIOSセットアップ画面で<**F6**>キーを押して工場出荷時の設定値に戻します。
- マザーボード上の**クリアCMOS**ジャンパをショートする。
- リアI/Oパネルの**クリアCMOS**ボタンを押す。

注意

*CMOSデータをクリアする前に、必ずPCの電源がオフにすることを確認してください。BIOSのリセットについては**クリアCOMS**ジャンパ/ ボタンセクションをご参照ください。*

BIOSのアップデート方法

M-FLASHでのBIOSアップデート

アップデートの前に:

MSIのWEBサイトから最新のBIOSファイルをダウンロードし、USBメモリのルートフォルダにコピーします。

BIOSのアップデート:

1. マルチBIOSスイッチで標的BIOS ROMにスイッチします。マザーボードにこのスイッチがない場合は、このステップを飛ばします。
2. アップデートするBIOSイメージファイルを含むUSBメモリをマザーボードのUSBポートに挿入します。
3. 下記の方法でフラッシュモードに入ります。
   - POST中に<**Ctrl + F5**>キーを押して、Yesをクリックしてシステムを再起動させます。



   - POST中に<**Delete**>キーを押してBIOSセットアップ画面に入ります。**M-FLASH**タブを選択し、Yesをクリックしてシステムを再起動させます。



4. BIOSイメージファイルを一つ選択し、BIOSアップデートのプロセスを開始させます。
5. ユーザーが促されると、**Yes**をクリックしてBIOSを回復します。
6. アップデートプロセスが完了した後、システムが自動的に再起動します。

MSI CenterでのBIOSアップデート

アップデートの前に:

- LANドライバーがインストールされ、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。
- アップデートする前に、他のアプリケーションソフトをすべて閉じてください。

BIOSのアップデート:

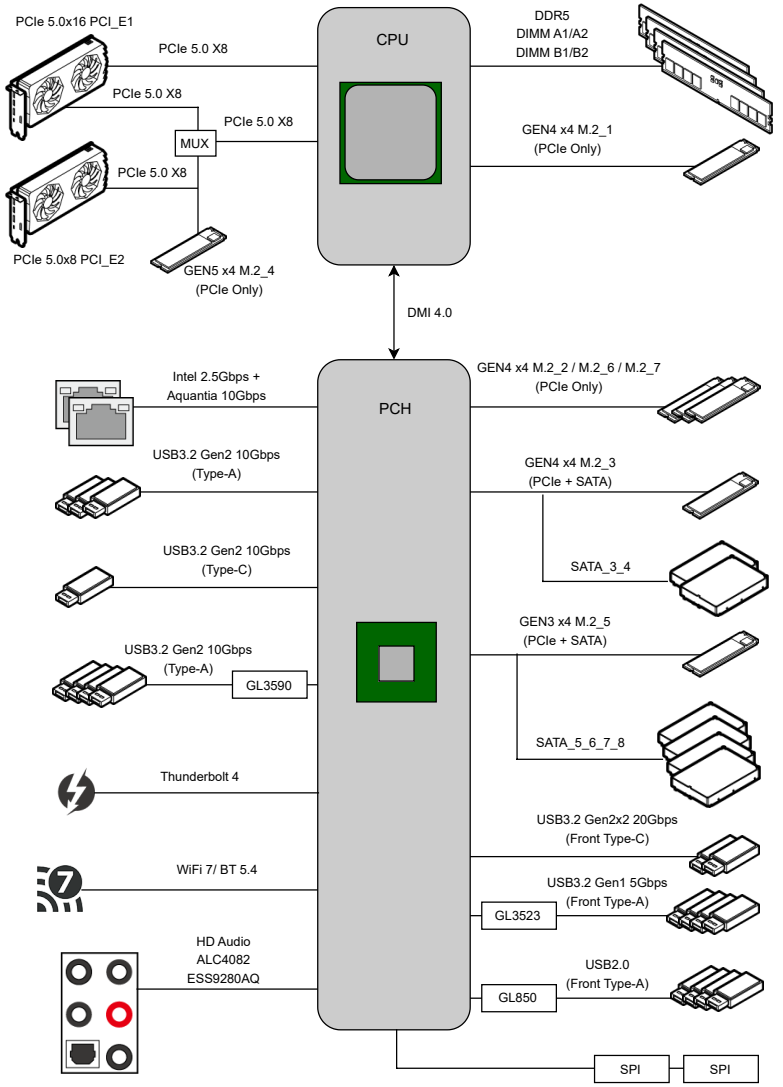
1. MSI CENTERをインストールして起動させて、**Support**ページに入ります。
2. **Live Update**を選択して、**Advanced**ボタンをクリックします。
3. BIOSファイルを選択して、**Install**ボタンをクリックします。
4. インストールのリマインダーが表示されると、**Install**ボタンをクリックします。
5. システムが自動的に再起動してBIOSのアップデートを始めます。
6. アップデートプロセスが完了した後、システムが自動的に再起動します。

Flash BIOSボタンでのBIOSアップデート

1. MSIのWEBサイトから最新のBIOSファイルをダウンロードします。
2. BIOSファイルの名前をMSI.ROMに変更します。それをUSBストレージデバイスのルートフォルダにコピーします。
3. 電源を **CPU_PWR1**と**ATX_PWR1**コネクターに接続します。(電源ユニット以外を取り付ける必要はありません。)
4. MSI.ROMファイルを含むUSBストレージデバイスをリアI/Oパネルの**Flash BIOSポート**に挿入します。
5. **Flash BIOSボタン**を押すとBIOSの書き込みが始まり、LEDが点滅し始めます。
6. BIOSアップデートが完了するとLEDの点滅が止まり、オフになります。

ブロック図

MEG Z790 GODLIKE MAX



Regulatory Notices

FCC-B Radio Frequency Interference Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and radiates radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

NOTE

- The changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- Shield interface cables and AC power cord, if any, must be used in order to comply with the emission limits.

FCC Conditions

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

MSI Computer Corp.

901 Canada Court, City of Industry, CA 91748, USA

(626)913-0828

www.msi.com

CE Conformity

Products bearing the CE marking comply with one or more of the following EU Directives as may be applicable:

- RED 2014/53/EU
- Low Voltage Directive 2014/35/EU
- EMC Directive 2014/30/EU
- RoHS Directive 2011/65/EU
- ErP Directive 2009/125/EC

Compliance with these directives is assessed using applicable European Harmonized Standards.

The point of contact for regulatory matters is MSI-Europe: Eindhoven 5706 5692 ER Son.

Products with Radio Functionality (EMF)

This product incorporates a radio transmitting and receiving device. For computers in normal use, a separation distance of 20 cm ensures that radio frequency exposure levels comply with EU requirements. Products designed to be operated at closer proximities, such as tablet computers, comply with applicable EU requirements in typical operating positions. Products can be operated without maintaining a separation distance unless otherwise indicated in instructions specific to the product.

Restrictions for Products with Radio Functionality

CAUTION: IEEE 802.11x wireless LAN with 5.15~5.35 GHz frequency band is restricted for indoor use only in all European Union member states, EFTA (Iceland, Norway, Liechtenstein), and most other European countries (e.g., Switzerland, Turkey, Republic of Serbia). Using this WLAN application outdoors might lead to interference issues with existing radio services.

Radio frequency bands and maximum power levels

- Features: Wi-Fi 7, BT
- Frequency Range: 2.4 GHz: 2400~2485MHz; 5 GHz: 5150~5350MHz, 5470~5725MHz, 5725~5850MHz; 6 GHz: 5955~6415MHz
- Max Power Level: 2.4 GHz: 20dBm; 5 GHz: 23dBm; 6 GHz: 23dBm

Wireless Radio Use

This device is restricted to indoor use when operating in the 2.4GHz, 5GHz, 6GHz frequency band.

Cet appareil doit être utilisé à l'intérieur.

당해 무선설비는 운용중 전파혼신 가능성이 있음.

この製品は、周波数帯域 2.4GHz, 5GHz, 6GHz で動作しているときは、屋内においてのみ使用可能です。

NCC無線設備警告聲明

工作頻率2.4GHz, 5GHz, 6GHz該頻段限於室內使用。

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Compliance Statement of Innovation, Science and Economic Development Canada (ISED)

This device complies with with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Operation in the band 5150-5250 MHz is only for indoor use to reduce the potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems.

CAN ICES-003(B)/NMB-003(B)

Australia and New Zealand notice

This equipment incorporates a radio transmitting and receiving device. In normal use, a separation distance of 20 cm ensures that radio frequency exposure levels comply with the Australian and New Zealand Standards.

クラスB情報技術装置

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

KC인증서



R-R-MSI-20-7D85

상호: (주)엠에스아이코리아
제품명: 메인보드
모델명: 20-7D85
제조년월: 2023년
제조자 및 제조국가: MSI/중국



R-R-MSI-USB2VR09

상호: (주)엠에스아이코리아
제품명: USB FLASH DRIVE
모델명: USB2VR09
제조년월: 2023년
제조자 및 제조국가: MSI/중국



R-R-MSI-USB3VR09

상호: (주)엠에스아이코리아
제품명: USB FLASH DRIVE
모델명: USB3VR09
제조년월: 2023년
제조자 및 제조국가: MSI/중국



R-R-MSI-20-4483

상호: (주)엠에스아이코리아
제품명: M-VISION Dashboard
모델명: 20-4483
제조년월: 2023년
제조자 및 제조국가: MSI/중국

Battery Information

European Union:



Batteries, battery packs, and accumulators should not be disposed of as unsorted household waste. Please use the public collection system to return, recycle, or treat them in compliance with the local regulations.

BSMI:



廢電池請回收
For better environmental protection, waste batteries should be collected separately for recycling or special disposal.

California, USA:



The button cell battery may contain perchlorate material and requires special handling when recycled or disposed of in California.
For further information please visit:
https://dtsc.ca.gov/perchlorate/

⚠WARNING

- **INGESTION HAZARD**: This product contains a button cell or coin battery.
- **DEATH** or serious injury can occur if ingested.
- A swallowed button cell or coin battery can cause **Internal Chemical Burns** in as little as **2 hours**.
- **KEEP** new and used batteries **OUT OF REACH OF CHILDREN**
- **Seek immediate medical attention** if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.



- Remove and immediately recycle or dispose of used batteries according to local regulations and keep away from children. Do NOT dispose of batteries in household trash or incinerate.
- Even used batteries may cause severe injury or death. Call a local poison control center for treatment information.
- Battery type: CR2032
- Battery voltage: 3V
- Non-rechargeable batteries are not to be recharged.
- Do not force discharge, recharge, disassemble, heat above (manufacturer's specified temperature rating) or incinerate. Doing so may result in injury due to venting, leakage or explosion resulting in chemical burns.
- This product contains an irreplaceable battery.
- This icon indicates that a swallowed button battery can cause serious injury or death. Please keep batteries out of sight or reach of children.

Chemical Substances Information

In compliance with chemical substances regulations, such as the EU REACH Regulation (Regulation EC No. 1907/2006 of the European Parliament and the Council), MSI provides the information of chemical substances in products at:

https://csr.msi.com/global/index

Environmental Policy



- The product has been designed to enable proper reuse of parts and recycling and should not be thrown away at its end of life.
- Users should contact the local authorized point of collection for recycling and disposing of their end-of-life products.
- Visit the MSI website and locate a nearby distributor for further recycling information.
- Users may also reach us at gpcontdev@msi.com for information regarding proper Disposal, Take-back, Recycling, and Disassembly of MSI products.

WEEE (Waste Electrical and Electronic Equipment) Statement

ENGLISH



To protect the global environment and as an environmentalist, MSI must remind you that...

Under the European Union ("EU") Directive on Waste Electrical and Electronic Equipment, Directive 2002/96/EC, which takes effect on August 13, 2005, products of "electrical and electronic equipment" cannot be discarded as municipal wastes anymore, and manufacturers of covered electronic equipment will be obligated to take back such products at the end of their useful life. MSI will comply with the product take back requirements at the end of life of MSI-branded products that are sold into the EU. You can return these products to local collection points.

DEUTSCH

Hinweis von MSI zur Erhaltung und Schutz unserer Umwelt

Gemäß der Richtlinie 2002/96/EG über Elektro- und Elektronik-Altgeräte dürfen Elektro- und Elektronik-Altgeräte nicht mehr als kommunale Abfälle entsorgt werden. MSI hat europaweit verschiedene Sammel- und Recyclingunternehmen beauftragt, die in die Europäische Union in Verkehr gebrachten Produkte, am Ende seines Lebenszyklus zurückzunehmen. Bitte entsorgen Sie dieses Produkt zum gegebenen Zeitpunkt ausschliesslich an einer lokalen Altgerätesammelstelle in Ihrer Nähe.

FRANÇAIS

En tant qu'écologiste et afin de protéger l'environnement, MSI tient à rappeler ceci...

Au sujet de la directive européenne (EU) relative aux déchets des équipement électriques et électroniques, directive 2002/96/EC, prenant effet le 13 août 2005, que les produits électriques et électroniques ne peuvent être déposés dans les

décharges ou tout simplement mis à la poubelle. Les fabricants de ces équipements seront obligés de récupérer certains produits en fin de vie. MSI prendra en compte cette exigence relative au retour des produits en fin de vie au sein de la communauté européenne. Par conséquent vous pouvez retourner localement ces matériels dans les points de collecte.

РУССКИЙ

Компания MSI предпринимает активные действия по защите окружающей среды, поэтому напоминаем вам, что....

В соответствии с директивой Европейского Союза (EC) по предотвращению загрязнения окружающей среды использованным электрическим и электронным оборудованием (директива WEEE 2002/96/EC), вступающей в силу 13 августа 2005 года, изделия, относящиеся к электрическому и электронному оборудованию, не могут рассматриваться как бытовой мусор, поэтому производители вышеперечисленного электронного оборудования обязаны принимать его для переработки по окончании срока службы. MSI обязуется соблюдать требования по приему продукции, проданной под маркой MSI на территории EC, в переработку по окончании срока службы. Вы можете вернуть эти изделия в специализированные пункты приема.

ESPAÑOL

MSI como empresa comprometida con la protección del medio ambiente, recomienda:

Bajo la directiva 2002/96/EC de la Unión Europea en materia de desechos y/o equipos electrónicos, con fecha de rigor desde el 13 de agosto de 2005, los productos clasificados como "eléctricos y equipos electrónicos" no pueden ser depositados en los contenedores habituales de su municipio, los fabricantes de equipos electrónicos, están obligados a hacerse cargo de dichos productos al termino de su período de vida. MSI estará comprometido con los términos de recogida de sus productos vendidos en la Unión Europea al final de su periodo de vida. Usted debe depositar estos productos en el punto limpio establecido por el ayuntamiento de su localidad o entregar a una empresa autorizada para la recogida de estos residuos.

NEDERLANDS

Om het milieu te beschermen, wil MSI u eraan herinneren dat....

De richtlijn van de Europese Unie (EU) met betrekking tot Vervuiling van Electrische en Electronische producten (2002/96/EC), die op 13 Augustus 2005 in zal gaan kunnen niet meer beschouwd worden als vervuiling. Fabrikanten van dit soort producten worden verplicht om producten retour te nemen aan het eind van hun levenscyclus. MSI zal overeenkomstig de richtlijn handelen voor de producten die de merknaam MSI dragen en verkocht zijn in de EU. Deze goederen kunnen geretourneerd worden op lokale inzamelingspunten.

SRPSKI

Da bi zaštitili prirodnu sredinu, i kao preduzeće koje vodi računa o okolini i prirodnoj sredini, MSI mora da vas podesti da...
Po Direktivi Evropske unije ("EU") o odbačenoj ekektronskoj i električnoj opremi, Direktiva 2002/96/EC, koja stupa na snagu od 13. Avgusta 2005, proizvodi koji spadaju pod "elektronsku i električnu opremu" ne mogu više biti odbačeni kao običan otpad i proizvođači ove opreme biće prinuđeni da uzmu natrag ove proizvode na kraju njihovog uobičajenog veka trajanja. MSI će poštovati zahtev o preuzimanju ovakvih proizvoda

kojima je istekao vek trajanja, koji imaju MSI oznaku i koji su prodati u EU. Ove proizvode možete vratiti na lokalnim mestima za prikupljanje.

POLSKI

Aby chronić nasze środowisko naturalne oraz jako firma dbająca o ekologię, MSI przypomina, że...Zgodnie z Dyrektywą Unii Europejskiej ("UE") dotyczącą odpadów produktów elektrycznych i elektronicznych (Dyrektywa 2002/96/EC), która wchodzi w życie 13 sierpnia 2005, tzw. "produkty oraz wyposażenie elektryczne i elektroniczne " nie mogą być traktowane jako śmieci komunalne, tak więc producenci tych produktów będą zobowiązani do odbierania ich w momencie gdy produkt jest wycofywany z użycia. MSI wypełni wymagania UE, przyjmując produkty (sprzedawane na terenie Unii Europejskiej) wycofywane z użycia. Produkty MSI będzie można zwracać w wyznaczonych punktach zbiorczych.

TÜRKÇE

Çevreci özelliğiyle bilinen MSI dünyada çevreyi korumak için hatırlatır:
Avrupa Birliği (AB) Kararnamesi Elektrik ve Elektronik Malzeme Atığı, 2002/96/EC Kararnamesi altında 13 Ağustos 2005 tarihinden itibaren geçerli olmak üzere, elektrikli ve elektronik malzemeler diğer atıklar gibi çöpe atılamayacak ve bu elektonik cihazların üreticileri, cihazların kullanım süreleri bittikten sonra ürünleri geri toplamakla yükümlü olacaktır. Avrupa Birliği'ne satılan MSI markalı ürünlerin kullanım süreleri bittiğinde MSI ürünlerin geri alınması isteği ile işbirliği içerisinde olacaktır. Ürünlerinizi yerel toplama noktalarına bırakabilirsiniz.

ČESKY

Záleží nám na ochraně životního prostředí - společnost MSI upozorňuje...

Podle směrnice Evropské unie ("EU") o likvidaci elektrických a elektronických výrobků 2002/96/EC platné od 13. srpna 2005 je zakázáno likvidovat "elektrické a elektronické výrobky" v běžném komunálním odpadu a výrobci elektronických výrobků, na které se tato směrnice vztahuje, budou povinni odebírat takové výrobky zpět po skončení jejich životnosti. Společnost MSI splní požadavky na odebírání výrobků značky MSI, prodávaných v zemích EU, po skončení jejich životnosti. Tyto výrobky můžete odevzdat v místních sběrnách.

MAGYAR

Annak érdekében, hogy környezetünket megvédjük, illetve környezetvédőként fellépve az MSI emlékezteti Önt, hogy ...

Az Európai Unió („EU") 2005. augusztus 13-án hatályba lépő, az elektromos és elektronikus berendezések hulladékairól szóló 2002/96/EK irányelve szerint az elektromos és elektronikus berendezések többé nem kezelhetőek lakossági hulladékként, és az ilyen elektronikus berendezések gyártói kötelessé válnak az ilyen termékek visszavételére azok hasznos élettartama végén. Az MSI betartja a termékvisszavétellel kapcsolatos követelményeket az MSI márkanév alatt az EU-n belül értékesített termékek esetében, azok élettartamának végén. Az ilyen termékeket a legközelebbi gyűjtőhelyre viheti.

ITALIANO

Per proteggere l'ambiente, MSI, da sempre amica della natura, ti ricorda che....

In base alla Direttiva dell'Unione Europea (EU) sullo Smaltimento dei Materiali Elettrici ed Elettronici, Direttiva 2002/96/EC in vigore dal 13 Agosto 2005, prodotti appartenenti alla categoria dei Materiali Elettrici ed Elettronici non possono più

essere eliminati come rifiuti municipali: i produttori di detti materiali saranno obbligati a ritirare ogni prodotto alla fine del suo ciclo di vita. MSI si adeguerà a tale Direttiva ritirando tutti i prodotti marchiati MSI che sono stati venduti all'interno dell'Unione Europea alla fine del loro ciclo di vita. È possibile portare i prodotti nel più vicino punto di raccolta

日本JIS C 0950材質宣言

日本工業規格JIS C 0950により、2006年7月1日以降に販売される特定分野の電気および電子機器について、製造者による含有物質の表示が義務付けられます。

https://csr.msi.com/tw/Japan-JIS-C-0950-Material-Declarations

India RoHS

This product complies with the "India E-waste (Management and Handling) Rule 2011" and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls or polybrominated diphenyl ethers in concentrations exceeding 0.1 weight % and 0.01 weight % for cadmium, except for the exemptions set in Schedule 2 of the Rule.

Türkiye EEE yönetmeliği

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

Україна обмеження на наявність небезпечних речовин

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнані, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057.

Việt Nam RoHS

Kể từ ngày 01/12/2012, tất cả các sản phẩm do công ty MSI sản xuất tuân thủ Thông tư số 30/2011/TT-BCT quy định tạm thời về giới hạn hàm lượng cho phép của một số hóa chất độc hại có trong các sản phẩm điện, điện tử"

MS-7D85主板产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印刷电路板组件*	╳	○	○	○	○	○
纽扣电池	○	○	○	○	○	○
外部信号连接头	╳	○	○	○	○	○
其他 (例: 线材等)	╳	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

○: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

╳: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求，但所有部件都符合欧盟RoHS要求。

* 印刷电路板组件: 包括印刷电路板及其构成的零部件。

■ 上述有毒有害物质或元素清单会依型号之部件差异而有所增减。

■ 产品部件本体上如有环保使用期限标识，以本体标识为主。

限用物質含有情況標示聲明書

設備名稱：電腦主機板	型號(型式)：MS-7D85					
單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr^{+6})	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
電路板	○	○	○	○	○	○
電子元件	—	○	○	○	○	○
金屬機構件	—	○	○	○	○	○
塑膠機構件	○	○	○	○	○	○

備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。

備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。

備考3. “—” 係指該項限用物質為排除項目。

設備名稱：USB 3.2 Gen1 隨身碟	型號(型式)：VR09 3.2 Gen 1					
單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr^{+6})	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
儲存裝置	—	○	○	○	○	○
黑色內襯(塑件)	○	○	○	○	○	○
隨身碟外殼	○	○	○	○	○	○

備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。

備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。

備考3. “—” 係指該項限用物質為排除項目。

Copyright and Trademarks Notice

Copyright © Micro-Star Int'l Co., Ltd. All rights reserved. The MSI logo used is a registered trademark of Micro-Star Int'l Co., Ltd. All other marks and names mentioned may be trademarks of their respective owners. No warranty as to accuracy or completeness is expressed or implied. MSI reserves the right to make changes to this document without prior notice.

The terms HDMI™, HDMI™ High-Definition Multimedia Interface, HDMI™ Trade dress and the HDMI™ Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI™ Licensing Administrator, Inc.

Technical Support

If a problem arises with your system and no solution can be obtained from the user guide, please contact your place of purchase or local distributor. Alternatively, please try the following help resources for further guidance.

- Visit the MSI website for technical guide, BIOS updates, driver updates, and other information: http://www.msi.com
- Register your product at: http://register.msi.com

Revision History

- Version 2.0, 2023/09, First release.
- Version 2.1, 2023/11, update CPU spec.
- Version 2.2, 2024/01, update KCC Info.
- Version 2.3, 2024/03, add battery safety warning.